

(様式第10)

令和 5 年 10 月 5 日
厚生労働大臣 殿 開設者名 国立大学法人山口大学長
谷澤 幸生

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1
電話(0836) 22 - 2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科	<input type="radio"/>	
診療実績							
神経内科については、脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						無	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	臨床検査科	3	病理診断科	4	リハビリテーション科	5	形成外科
6	脳神経内科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
43				713	756

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	218	246	389.8
歯科医師	5	17	18.2
薬剤師	56	0	56
保健師	0	0	0
助産師	32	0	32
看護師	794	26	810.2
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	3	0	3
管理栄養士	14	0	14

職種	員数
看護補助者	43
理学療法士	20
作業療法士	7
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	18
栄養士	16
歯科技工士	1
診療放射線技師	41

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	66
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	7	
その他の技術員	28	
事務職員	249	
その他の職員	40	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	42	眼科専門医	10
外科専門医	32	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	9	放射線科専門医	4
小児科専門医	21	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	14
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	19
産婦人科専門医	15	救急科専門医	10
		合計	212

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松永 和人) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

医療の質・安全管理委員会委員(平成28年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	580.9 人	12.7 人	593.6 人
1日当たり平均外来患者数	1251 人	68.5 人	1319.5 人
1日当たり平均調剤数		2240	剤
必要医師数		136	人

必要歯科医師数	6	人
必要薬剤師数	20	人
必要(准)看護師数	341	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	419 ㎡	鉄筋鉄骨 コンクリート	16 床	有	心細動除去装置	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	301	㎡	病床数	23 床
	[移動式の場合]	台数	8	台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	30.57			㎡
	[共用室の場合]	共用する室名				
検体検査室	510.1 ㎡	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	生化学検査、血液学的検査、免疫学的検査、一般検査、遺伝子検査を含む		
細菌検査室	100.6 ㎡	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置		
病理検査室	373 ㎡	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置		
病理解剖室	477 ㎡	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器		
研究室	11955 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)			
講義室	2439 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	12 室	収容定員	1642 人
図書室	1945 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	18 室	蔵書数	163564 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.92	%	逆紹介率	84.11	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		11,775 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,520 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,362 人		
	D: 初診の患者の数		13,696 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況

河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田・讃岐法律事務所		法律に関する識見を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
玉田 英生	UBE株式会社		医療を受ける者の代表者	無	2. 医療を受ける者の代表者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
大学ウェブページに記載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
2	筋萎縮性側索硬化症	39	171	ウィルソン病	2
3	脊髄性筋萎縮症	3	172	低ホスファターゼ症	1
4	原発性側索硬化症	1	173	VATER症候群	0
5	進行性核上性麻痺	7	174	那須・ハコラ病	0
6	パーキンソン病	133	175	ウィーバー症候群	0
7	大脳皮質基底核変性症	2	176	コフィン・ローリー症候群	0
8	ハンチントン病	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
9	神経有棘赤血球症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	7	179	ウィリアムズ症候群	0
11	重症筋無力症	61	180	ATR-X症候群	0
12	先天性筋無力症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	101	182	アペール症候群	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	39	183	ファイファー症候群	0
15	封入体筋炎	2	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
16	クロウ・深瀬症候群	1	185	コフィン・シリズ症候群	0
17	多系統萎縮症	9	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	26	187	歌舞伎症候群	0
19	ライソゾーム病	2	188	多脾症候群	0
20	副腎白質ジストロフィー	1	189	無脾症候群	1
21	ミトコンドリア病	5	190	鰓耳腎症候群	0
22	もやもや病	28	191	ウェルナー症候群	0
23	プリオン病	0	192	コケイン症候群	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	193	ブラダー・ウイリ症候群	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	194	ソトス症候群	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	195	ヌーナン症候群	0
27	特発性基底核石灰化症	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
28	全身性アミロイドーシス	35	197	1p36欠失症候群	0
29	ウルリッヒ病	1	198	4p欠失症候群	0
30	遠位型ミオパチー	3	199	5p欠失症候群	0
31	ベスレムミオパチー	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	1
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	201	アンジェルマン症候群	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
34	神経線維腫症	16	203	22q11.2欠失症候群	0
35	天疱瘡	13	204	エマヌエル症候群	0
36	表皮水疱症	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	206	脆弱X症候群	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	207	総動脈幹遺残症	0
39	中毒性表皮壊死症	0	208	修正大血管転位症	0
40	高安動脈炎	10	209	完全大血管転位症	0
41	巨細胞性動脈炎	2	210	単心室症	0
42	結節性多発動脈炎	4	211	左心低形成症候群	0
43	顕微鏡的多発血管炎	24	212	三尖弁閉鎖症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	22	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	21	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
46	悪性関節リウマチ	7	215	ファロー四徴症	0
47	バージャー病	4	216	両大血管右室起始症	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	217	エプスタイン病	0
49	全身性エリテマトーデス	125	218	アルポート症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	88	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
51	全身性強皮症	66	220	急速進行性糸球体腎炎	3
52	混合性結合組織病	10	221	抗糸球体基底膜腎炎	0
53	シェーグレン症候群	29	222	一次性ネフローゼ症候群	18
54	成人スチル病	3	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
55	再発性多発軟骨炎	0	224	紫斑病性腎炎	3
56	ベーチェット病	36	225	先天性腎性尿崩症	0
57	特発性拡張型心筋症	29	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2
58	肥大型心筋症	4	227	オスラー病	1
59	拘束型心筋症	1	228	閉塞性細気管支炎	0
60	再生不良性貧血	11	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0
61	自己免疫性溶血性貧血	1	230	肺胞低換気症候群	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	14	232	カーニー複合	0
64	血栓性血小板減少性紫斑病	3	233	ウォルフラム症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

65	原発性免疫不全症候群	9	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
66	IgA 腎症	27	235	副甲状腺機能低下症	0
67	多発性嚢胞腎	9	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
68	黄色靭帯骨化症	34	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
69	後縦靭帯骨化症	105	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
70	広範脊柱管狭窄症	13	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	41	240	フェニルケトン尿症	0
72	下垂体性ADH分泌異常症	5	241	高チロシン血症1型	0
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	242	高チロシン血症2型	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6	243	高チロシン血症3型	0
75	クッシング病	2	244	メープルシロップ尿症	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	245	プロピオン酸血症	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12	246	メチルマロン酸血症	0
78	下垂体前葉機能低下症	57	247	イソ吉草酸血症	0
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	249	グルタル酸血症1型	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5	250	グルタル酸血症2型	0
82	先天性副腎低形成症	0	251	尿素サイクル異常症	0
83	アジソン病	1	252	リジン尿性蛋白不耐症	0
84	サルコイドーシス	63	253	先天性葉酸吸収不全	0
85	特発性間質性肺炎	45	254	ポルフィリン症	1
86	肺動脈性肺高血圧症	9	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	256	筋型糖原病	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5	257	肝型糖原病	0
89	リンパ脈管筋腫症	6	258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
90	網膜色素変性症	9	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
91	バッド・キアリ症候群	1	260	シトステロール血症	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	261	タンジール病	0
93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	41	262	原発性高カイロミクロン血症	0
94	原発性硬化性胆管炎	2	263	脳腫黄色腫症	0
95	自己免疫性肝炎	14	264	無βリポタンパク血症	0
96	クローン病	125	265	脂肪萎縮症	1
97	潰瘍性大腸炎	169	266	家族性地中海熱	0
98	好酸球性消化管疾患	1	267	高IgD症候群	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	268	中條・西村症候群	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	271	強直性脊椎炎	4
103	CFC症候群	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
104	コステロ症候群	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
105	チャージ症候群	0	274	骨形成不全症	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	1	276	軟骨無形成症	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	2	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
110	ブラウ症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
111	先天性ミオパチー	3	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
113	筋ジストロフィー	16	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	283	後天性赤芽球癆	3
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
116	アトピー性脊髄炎	0	285	ファンコニ貧血	0
117	脊髄空洞症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
118	脊髄髄膜瘤	0	287	エプスタイン症候群	0
119	アイザックス症候群	2	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
120	遺伝性ジストニア	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
121	神経フェリチン症	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	292	総排泄腔外反症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	293	総排泄腔遺残	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
126	ペリー症候群	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
127	前頭側頭葉変性症	0	296	胆道閉鎖症	1
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	297	アラジール症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	298	遺伝性膀胱炎	0
130	先天性無痛無汗症	0	299	嚢胞性線維症	0
131	アレキサンダー病	0	300	IgG4関連疾患	9
132	先天性核上性球麻痺	0	301	黄斑ジストロフィー	2
133	メビウス症候群	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	303	アッシュヤー症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
136	片側巨脳症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
137	限局性皮質異形成	0	306	好酸球性副鼻腔炎	93
138	神経細胞移動異常症	0	307	カナバン病	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	308	進行性白質脳症	0
140	ドラベ症候群	0	309	進行性ミオクロースてんかん	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	310	先天異常症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
144	レノックス・ガスター症候群	1	313	先天性肺静脈狭窄症	0
145	ウエスト症候群	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
146	大田原症候群	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	316	カルニチン回路異常症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	317	三頭酵素欠損症	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	318	シトリン欠損症	0
150	環状20番染色体症候群	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
151	ラスムッセン脳炎	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
152	PCDH19関連症候群	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
156	レット症候群	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	326	大理石骨病	0
158	結節性硬化症	3	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
159	色素性乾皮症	1	328	前眼部形成異常	0
160	先天性魚鱗癬	0	329	無虹彩症	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	7	331	特発性多中心性キャスルマン病	5
163	特発性後天性全身性無汗症	5	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
164	眼皮膚白皮症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	335	ネフロン癆	0
167	マルファン症候群	6	336	家族性低βリポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	337	ホモシスチン尿症	0
169	メンケス病	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	117
合計患者数(人)	2100

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・地域医療体制確保加算
・診療録管理体制加算2	・救命救急入院料4
・医師事務作業補助体制加算1	・特定集中治療室管理料2
・急性期看護補助体制加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・看護職員夜間配置加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護補助加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・看護職員処遇改善評価料63
・無菌治療室管理加算1	
・無菌治療室管理加算2	
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	
・緩和ケア診療加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・医療安全対策加算1	
・感染対策向上加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・後発医薬品使用体制加算2	
・病棟薬剤業務実施加算1	
・病棟薬剤業務実施加算2	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・医療機器安全管理料2
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料ニ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・小児運動器疾患指導管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・先天性代謝異常症検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・腎代替療法指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・一般不妊治療管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・生殖補助医療管理料1	・検体検査管理加算(IV)
・下肢創傷処置管理料	・国際標準検査管理加算
・外来放射線照射診療料	・遺伝カウンセリング加算
・外来腫瘍化学療法診療料1	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・連携充実加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・胎児心エコー法
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・長期継続頭蓋内脳波検査	・外来化学療法加算1
・単線維筋電図	・無菌製剤処理料
・光トポグラフィー	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・全視野精密網膜電図	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・コンタクトレンズ検査料1	・がん患者リハビリテーション料
・小児食物アレルギー負荷検査	・リンパ浮腫複合的治療料
・内服・点滴誘発試験	・歯科口腔リハビリテーション料2
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・精神科作業療法
・CT透視下気管支鏡検査加算	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・経気管支凍結生検法	・医療保護入院等診療料
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・画像診断管理加算3	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・冠動脈CT撮影加算	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・硬膜外自家血注入
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・心臓MRI撮影加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・乳房MRI撮影加算	・人工腎臓
・小児鎮静下MRI撮影加算	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・頭部MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・全身MRI撮影加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・肝エラストグラフィ加算	・磁気による膀胱等刺激法
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科技工加算1及び2	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・センチネルリンパ節加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・自家脂肪注入	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・椎間板内酵素注入療法	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・羊膜移植術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・胸腔鏡下弁形成術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・胸腔鏡下弁置換術
・網膜再建術	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
・耳管用補綴材挿入術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・人工中耳植込術	・経皮的の中隔心筋焼灼術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・経皮的中心隔心筋焼灼術	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・同種死体腎移植術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・生体腎移植術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・補助人工心臓	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・生体部分肝移植術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・体外式膜型人工肺管理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・画像誘導密封小線源治療加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・口腔病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料 I	
・コーディネート体制充実加算	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・輸血適正使用加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料 (I)	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料 (I)	
・麻酔管理料 (II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・一回線量増加加算	
・強度変調放射線治療 (IMRT)	
・画像誘導放射線治療 (IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
難治性固形がんに対する次世代CAR-T細胞療法の研究開発	玉田 耕治	免疫学講座	100,100,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
がん認識抗体とCAR-T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第I相医師主導臨床試験	玉田 耕治	免疫学講座	90,090,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
細胞内1分子力学操作による非熱的ゆらぎの影響解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	18,200,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
MRIによる子宮筋腫のサブタイプおよび組織構成の非侵襲的な予測法に関する研究開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	13,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
体外受精卵(胚)の着床率向上を目的とした胚のタイムラプス画像機械学習に基づく良好胚および正常核型胚スクリーニング法の開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	10,400,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
肝細胞癌に対する高感度DNAメチル化解析による簡便かつ低コストスクリーニング検査の研究開発	佐伯 一成	第一内科	10,010,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
多発性嚢胞腎に対する新規治療剤の探索	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	9,956,100	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
慢性腎臓病に対するリアノジン受容体安定化薬併用療法の開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	9,100,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
局所脳温の制御技術確立とその垂直水平展開	井上 貴雄	脳神経外科学講座	8,450,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
神経疾患への血液脳関門破綻の影響(スイスとの国際共同研究プログラム(JRPs))	西原 秀昭	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	7,315,000	補 ⑤委	独立行政法人 日本学術振興会
自然免疫異常を介した川崎病冠動脈病変発症機序の解明および新規分子標的治療の確立	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	6,500,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ヒト in vitro 血液脳関門(BBB)モデルkitの事業化検証	竹下 幸男	臨床神経学講座	5,834,400	補 ⑤委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
統合失調症の早期診断のエビデンスの創出	中川 伸	高次脳機能病態学講座	2,600,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
ゲノム情報と創薬をつなぐ局在評価法の構築	富永 直臣	病態検査学講座	2,600,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン+シスプラチン+S-1(GCS)療法の第III相試験	井岡 達也	腫瘍センター	2,541,002	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立がん研究センター

高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたペマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に及ぼす影響を検討する無作為化非盲検群間比較試験 (PEMA-CORE study)	岡村 誉之	器官病態内科学講座	1,672,000	補 ⑤委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
血液由来試料エクソソームによる精神疾患の疾患バイオマーカー、治療効果予測の検討	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
がん治療開発実施基盤の構築 細胞製造における問題とその解決	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
プレジジョンメディシンと健康科学における人工知能とビッグデータアプローチ (二国間交流事業共同研究・セミナー)	浅井 義之	システムバイオインフォマティクス講座	950,000	補 ⑤委	独立行政法人 日本学術振興会
アカデミアシーズの実用化に向けた研究開発体制における研究マネジメント人材の育成システム開発に関する研究	丸本 芳雄	臨床研究センター	949,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	下川 元継	基礎検査学講座	650,000	補 ⑤委	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
乳児期発症のアトピー性皮膚炎の予後を追跡しアレルギーマーチへの診療の影響と危険因子を探索する前向きコホート研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究 (J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 ⑤委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

生殖補助医療におけるホルモン補充 周期凍結融解胚移植と周産期合併症 の関連性の検討	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,600,000	補 委	浜田市
食品を介したダイオキシン類等の人体 への影響の把握とその治療法の開発 等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,243,000	補 委	山口県
2型糖尿病患者を対象とした血管合併 症抑制のための強化療法と従来治療と のランダム化比較試験介入終了後の 追跡研究J-DOIT3(追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	200,000	補 委	公益財団法人 日本糖 尿病財団 理事長 岩本 安彦
周産期からライフコースに活かすメンタ ルヘルス評価ツールの開発	伊東 美佐江	母子看護学講座	1,000,000	補 委	宇部市
シミュレーションヒトモデルの開発	西田 周泰	リハビリテーション部	1,000,000	補 委	宇部市
卵巣癌の発生・進展に関与するlong non-coding RNA の同定	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 委	美祢市
うつ病患者における疾患バイオマー カーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講 座	375,000	補 委	美祢市
口腔癌患者の臨床統計調査	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 委	美祢市

固形がんに対する新規CAR-T細胞技術のメカニズム解析研究	玉田 耕治	免疫学講座	10,140,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄由来肝臓修復細胞による高効率肝臓再生療法の先制的適応拡大研究と機序解明	坂井田 功	消化器内科学講座	9,054,946	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢神経バリアー構成細胞の特性を利用した難治性中枢神経疾患の新規治療法開発	神田 隆	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	8,190,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血組織に血管新生を誘導する経静脈投与が可能なエクソソーム血管再生療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	6,500,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クロマチン制御による熱ショック応答の調節機構の解明	中井 彰	医化学講座	5,850,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤の退縮治癒を促進する力学刺激-免疫連関制御療法の創成	吉村 耕一	器官病態外科学講座	5,460,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多機能センシング技術により計測される頭蓋内皮質活動を用いた病態検出システムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	5,330,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
立体臓器形成・再生の力学恒常性を司るフィードバック分子機構の解明	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	5,200,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

がん発症・進展過程におけるYAPの活性化の機能的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	5,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体数可塑性を利用したPatau症候群の繊毛病発症機構の解明	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	5,070,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オルガノイド法を用いたミニ子宮内膜作成と子宮内膜再生医療の展開	杉野 法広	産科婦人科学講座	4,550,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体結合カルモジュリン制御による心不全・心肥大・致死的不整脈の治療	矢野 雅文	器官病態内科学講座	4,420,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性黒色腫に高度に集積するマルチ温熱・放射線セラノスティックス・ナノ粒子の開発	中村 教泰	器官解剖学講座	4,290,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前立腺癌オルガノイドと3D in vitroモデルによる至適薬剤選択法の開発	松山 豪泰	泌尿器科学講座	3,770,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
交感神経活性化に着目した進行性脂肪肝疾患における心血管イベント発症機序の解明	劉 金耀	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	3,770,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便中の腸内細菌検査による大腸腫瘍診断および大腸腫瘍リスク診断法の開発	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講座	3,770,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

生体を反映したがん免疫微小環境ミニ臓器培養系の樹立	清木 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	3,510,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床実践に基づいた看護師の呼吸ケア実践能力の解明と評価ツールの開発	田戸 朝美	臨床看護学講座	3,250,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
広汎性脱分極(皮質拡延性抑制)と脳血管自動調節能の関係性についての研究	杉本 至健	脳神経外科	3,250,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病モデルマウスに対するニコチンアミドモヌクレオチド投与による難聴予防の検討	津田 潤子	耳鼻咽喉科	3,250,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
経静脈投与が可能な虚血性心疾患に対するエクソソーム治療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	3,250,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
疑似細胞環境下における発動分子のゆらぎに誘導される運動特性の解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析 学講座	2,990,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜リンパ球は子宮体がんの形成に関与するか	城崎 幸介	免疫学講座	2,860,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん発症・進展過程におけるYAPの活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態 医化学講座	2,860,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

周術期低血圧に対する昇圧剤投与は遊離移植組織の吻合部血栓形成を抑制するか	高須 啓之	形成外科	2,730,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリン制御による新しい肺高血圧治療法の開発	中村 吉秀	第二内科	2,730,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多発性硬化症患者iPS細胞を用いた血液脳関門破綻候補遺伝子の同定とその臨床応用	西原 秀昭	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	2,730,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
樹状細胞を標的とした、オメガ3脂肪酸を用いた新規の眼炎症抑制療法の開発について	内 翔平	眼科	2,600,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
立体臓器形成・再生の力学恒常性を司るフィードバック分子機構の解明	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	2,475,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バイオメカニクスとロボティクスに基づく肺機能/形態融合の次世代動体追跡放射線治療	椎木 健裕	放射線治療部	2,340,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ALK陽性未分化大細胞リンパ腫におけるALK阻害剤耐性の機序解明と新規治療の開発	深野 玲司	小児科	2,340,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Mincleを介した慢性炎症に起因する脈絡膜新生血管発生の病態解明	永井 智彦	眼科学講座	2,340,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

強靱な3次元臓器構築に不可欠なメカノホメオスタシスの基本原理の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態 医化学講座	2,281,325	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臓器再生を担う力学制御YAPエンハンセオソームの分子実体の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態 医化学講座	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
無精子症における精巣内内分泌環境に着目した単一細胞トランスクリプトーム解析	白石 晃司	泌尿器科学講座	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
環境中での薬剤耐性菌の制御に向けた、原生生物のバイオフィルム捕食作用の評価	小林 由紀	基礎検査学講座	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
内在性細胞保護因子に着目したパーキンソン病新規治療戦略の構築	野崎 香菜子	神経解剖学講座	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家線維芽細胞シート移植に向けた治療効果の高い細胞バンク構築の為の細胞特性解析	溝口 高弘	第一外科	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CNVおよび網膜下線維化に対する新規ベンゾイルフェニルウレアの作用機序の解明	小林 正明	眼科	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NAD+/PARP1経路に着目したRP制御機構の解明	芦森 温茂	眼科学講座	2,210,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

乳がんの肺転移をモデルとした前転移ニッチ形成機構の解明	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	2,158,913	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
上皮細胞傷害性を有する腸内細菌による大腸がん発生機序の解明	辻 竣也	薬理学講座	2,150,022	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期うつ病早期診断のための高精度スクリーニングシステム構築を目指した縦断的検討	末永 弘美	病態検査学講座	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
変異型SERPING1の発現抑制による遺伝性血管性浮腫の治療法の開発	安野 秀一郎	皮膚科	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゲノムストレス誘導性染色体微細構造の形態特性の解明	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小中学生の摂取脂肪酸・アミノ酸の組成データ解析による健康リスクとの関連評価	奥田 昌之	機械工学分野	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IL-33/ST2を介した川崎病および冠動脈病変発症機序の解明	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭部間コミュニケーションを導入したキネシンの数理モデル構築とパラメータ定量	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

変異型熱ショック転写因子導入マウスによる温度ストレス下での個体生命維持機構の解明	林田 直樹	医化学講座	1,950,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
SREBF1遺伝子変異によるアトピー性皮膚炎様症状の発症機構の解明	下村 尚子	皮膚科学講座	1,950,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
9軸センサとVOG同期記録による動的平衡機能評価と前庭リハビリテーションへの適用	橋本 誠	耳鼻咽喉科	1,950,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タスク・シフト/シェアを見据えた救急看護師のロールモデルの構築	須田 果穂	臨床看護学講座	1,950,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
シングルセルレベルで微小環境から探る子宮筋腫の発育とその多様性のメカニズムの解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	1,950,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性でんかんに対する温度感受性TRPM8チャンネルの有効性と病態制御基盤の解明	森山 博史	脳神経外科	1,820,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺病変の検出を目的とした胸部単純X線画像と深層学習を組み合わせた差分技術の開発	清水 陽一郎	放射線部	1,820,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌における癌幹細胞性獲得と免疫監視逃避における細胞外シグナルの解析	恒富 亮一	第二外科	1,820,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

「正解のない問題」に取り組むメタ認知に着目し公衆衛生看護の思考を深める対話法	牛尾 裕子	地域・老年看護学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳に良い親の養育態度とは何か？ー自閉スペクトラム症児のマルチモデル神経画像研究ー	原田 健一郎	精神科神経科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
LIPHと縮毛症の新規原因遺伝子C3ORF52の関連性の解析	浅野 伸幸	皮膚科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化管縫合不全回避に向けた線維芽細胞シートを用いた治療法の開発	田中 裕也	第一外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショックタンパク質と血管内皮増殖因子による網膜神経保護の病態解明	波多野 誠	眼科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老化骨格筋由来エクソソームを中心とした筋ー脳連関の解明	富永 直臣	病態検査学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高感度メチル化解析法による新たな肝癌診断スクリーニング検査の構築	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラット熱中症モデルにおけるNアセチルシステインと水素吸入による新規治療法の開発	中原 貴志	先進救急医療センター	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

猫ひっかき病のヒトへの感染予防に向けたネコワクチン・急性期診断・抗原バンクの開発	大津山 賢一郎	病態検査学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体の安定化に注目した左室収縮能の保たれた心不全に対する治療法の探査	小田 哲郎	第二内科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌に対する化学療法副作用関連バイオマーカーの探索と診断チップの開発	武田 茂	消化器・腫瘍外科学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生医療における他家積層線維芽細胞シートの新たな緩慢凍結保存法の開発	白澤 文吾	医学教育学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
髄液 turn over の促進による アミロイドβ クリアランス療法の開発	野村 貞宏	脳神経外科学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病における情動認知障害に有効な在宅治療プログラムの開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
個別化診療を見据えた膵癌克服のための癌幹細胞と腫瘍微小環境に関する研究	徳光 幸生	第二外科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多機能センシング技術により計測される頭蓋内皮質活動を用いた病態検出システムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	1,672,784	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

中間径フィラメントビメンチンを介した新規血管平滑筋異常収縮シグナル伝達機構の解明	岸 博子	分子細胞生理学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知機能障害と情動調整障害を同時に回復するうつ病のニューロフィードバック法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗線維化作用増強exosomeを用いた継続型低侵襲肝臓再生療法の開発	松本 俊彦	消化器内科学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低リスク網膜再生を実現する内在性幹細胞活性化－CRMP群のリン酸化制御－	徳田 和央	眼科学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アドバンスケアプランニングと同時に開始する患者の生活関係清算への支援に関する研究	田中 愛子	基礎看護学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代CAR-T細胞療法開発に応用可能なエピトープスプレッディング誘導機構の解析	安達 圭志	免疫学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンの核内移行制御による新しい心不全・心肥大の治療	山本 健	病態検査学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌に対するFOLFOXIRI療法における副作用診断チップの開発	鈴木 伸明	消化器・腫瘍外科学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

虚血プレコンディショニングによるステントグラフト内挿術後腎筋虚血障害の克服	森景 則保	第一外科	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家積層線維芽細胞シート移植が術後気管支断端にもたらす血流増強効果の検討	田中 俊樹	手術部	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
劇症型急性肺炎の劇症化メカニズムの解明と新規治療法の開発	長谷川 明洋	ゲノム・機能分子解析学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎癌の免疫チェックポイント阻害剤治療予測マーカーとしてのlncRNAの有効性	平田 寛	泌尿器科	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MED12変異(+)と(-)子宮筋腫の異種移植モデルを用いた治療効果の検討	佐藤 俊	産科婦人科	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
知覚神経を介した眼特異的ゲートウェイ反射の解明と神経伝達物質による炎症再燃の抑制	柳井 亮二	眼科	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
硬さによる1次繊毛制御の分子メカニズムの解明	徳永 雅之	産科婦人科学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の線維化に関与するTGFβ経路の活性化機構の解明	三原 由実子	総合周産期母子医療センター	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

骨格筋由来エクソソームを介したフレイルによる認知症発症メカニズムの解明	富永 直臣	病態検査学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Analyses of in vivo neuroprotective role of STB/HAP1	イスラム エム ディノビウル	神経解剖学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
赤血球結合IgGのサブクラス別測定法の確立とAIHAにおける溶血機序の考察	山城 安啓	病態検査学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遠紫外線照射によるFusobacterium nucleatumの殺菌効果の検討	西川 潤	基礎検査学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性呼吸器疾患における健康寿命喪失過程の解明と健康寿命予測システムの構築	大石 景士	呼吸器・感染症内科	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
実臨床を目指した大型動物での積層線維芽細胞シートを用いた気管支断端瘻予防法の開発	竹内 由利子	医学教育学講座	1,560,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
形態/機能画像融合イメージングによるCOPDの同一時間的定量画像評価法の確立	浅見 麻紀	呼吸器・感染症内科	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌に対する有機シリカ・ナノ粒子キャリアを用いたCRB1遺伝子治療法の開発	末岡 幸太郎	総合周産期母子医療センター	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

難治性神経疾患の克服を目指した神経系血管バリアーの人為的制御手法の確立	池田 栄二	病理形態学講座	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の病態パターンと発症リスクを層別化できる検査診断法の確立	野島 順三	基礎検査学講座	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患での血液脳関門/血液神経関門破綻の全容解明と新規治療法開発	清水 文崇	脳神経内科	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Snフィルターを用いた超低線量小児CT技術の確立のための検討	國弘 佳枝	放射線科	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈の新たな治療開発	小林 茂樹	器官病態内科学講座	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
静脈性難治性皮膚潰瘍に対する自家細胞シート移植の成績と患者の細胞増殖能との関係	末廣 晃太郎	先進救急医療センター	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺がんの抗がん剤抵抗性に関する新規遺伝子の同定を目指したRNA修飾酵素の解析	原田 栄二郎	第一外科	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NFATc4に焦点を当てた膠芽腫の壊死周囲微小環境の腫瘍幹細胞誘導能解析	崔 丹	病理形態学講座	1,430,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

人工関節感染の早期診断における新規バイオマーカー関節液中プレゼプシンの有用性	今釜 崇	整形外科	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
液体クロマトグラフィー／質量分析法を用いた川崎病冠動脈病変誘発物質の特定	大西 佑治	小児科	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス下における食欲不振の病態解明	柳井 章江	基礎検査学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性中枢神経疾患におけるIgGの中枢移行性を促進するBBB分子の同定	竹下 幸男	臨床神経学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規肝臓再生療法における効率的な肝臓修復細胞および重要因子の同定	山本 直樹	保健管理センター	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経線維腫瘍中のマスト細胞関連蛋白阻害による新規治療法の開発	山本 美佐	病態検査学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
筋インスリン感受性を介した時計遺伝子DBPによる糖・脂質代謝制御機構の解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大伏在静脈グラフトに長期開存をもたらす、周囲脂肪組織の血管保護作用に関する研究	美甘 章仁	器官病態外科学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

血管再生療法を可能にする臨床応用可能な大量培養液からのエクソソーム単離法の開発	上野 耕司	第一外科	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層線維芽細胞シートの再生医療での普及を目指した乾燥保存法の開発	鈴木 亮	器官病態外科学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊椎脊髄疾患の診断治療を支援する実人体に近いシミュレーションモデルの構築	西田 周泰	リハビリテーション部	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経炎症疾患におけるB細胞枯渇療法の作用機序の解明	藤川 晋	脳神経内科	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
光-電子相関顕微鏡観察のための3次元ターゲティング法の開発	吉村 安寿弥	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜色素変性症における病態進行の分子機序の解明と新規治療薬の開発	小林 由佳	眼科	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
希少染色体疾患児のための遺伝学的知見を取り入れた学校生活支援モデルの構築	沓脱 小枝子	母子看護学講座	1,430,000	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアルワールドデータの統合解析で拓くがん免疫薬物療法の致死的有害事象回避法の構築	岡田 直人	薬剤部	1,375,472	⑨補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

肺癌の定位放射線治療における個別化ゲノム医療の探求	田中 秀和	放射線腫瘍学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IVR治療と再生療法の融合による新規非代償性肝硬変治療の開発を目指した臨床研究	石川 剛	消化器内科学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝予備能不良進行肝細胞癌に対する鉄キレート剤と再生療法によるハイブリッド療法開発	高見 太郎	消化器内科学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血中循環腫瘍細胞由来のオルガノイドを応用した転移性膵がんに対する新規免疫療法開発	田邊 剛	公衆衛生学・予防医学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代積層心筋幹細胞シート凍結保存法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層線維芽細胞シートを使用した術後気管支断端瘻の予防法の開発	村上 順一	第一外科	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子改変ゼブラフィッシュを用いた有毛細胞障害機構の解明	山下 裕司	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1歳6か月児健診カンファレンスシートを活用した地域の健康課題発見モデルの開発	斎藤 美矢子	地域・老年看護学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

抗リン脂質抗体による血栓形成作用の 解明	金重 里沙	基礎検査学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自に誘導した膵癌幹細胞の免疫逃 避機構の解明	松隈 聡	第二外科	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌腹膜播種を亢進する独自の誘導 胃癌幹細胞からの播種再発抑制標的 の同定	西山 光郎	第二外科	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規に同定した細胞接着斑分子 paxillinが血管攣縮を制御するメカニ ズムの解明	張 影	分子細胞生理学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非造影マルチパラメトリックMRIによる NASHの早期診断法の確立	伊東 克能	放射線医学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂質関連遺伝子の異常による先天性 毛髪疾患の病態解析	下村 裕	皮膚科学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臓器間ネットワークによる膵α細胞新 生機構と代謝制御の解明	奥屋 茂	保健管理センター	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器癌の遺伝子変異に由来する腫 瘍抗原ペプチドの同定と新規免疫療 法の開発	碓 彰一	共同研究講座(先端 がん治療開発学講 座)	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

大腸癌肝転移に関与する癌細胞由来マイクロRNAの同定と制御するメカニズムの解明	徐 明	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
10代に向けたe-learningによる経口避妊薬教育プログラムの開発と効果検証	亀崎 明子	母子看護学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
固形がんに対する次世代型CAR-NK細胞療法の研究開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠高血圧腎症胎盤における遺伝子発現の変化とその制御機構の解明	品川 征大	総合周産期母子医療センター	1,300,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな実験モデル構築による嫌気性廃水処理システム活性化を担う嫌気性原虫の機能解明	塩浜 康雄	器官解剖学講座	1,234,784	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ネグレクトのハイリスク家族支援における「保健師が介入するタイミング」に関する研究	木嶋 彩乃	地域・老年看護学講座	1,231,838	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
海馬による経験依存的な記憶形成機構	石川 淳子	神経生理学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病の鑑別診断を目指した糖タンパク質バイオマーカーの新たな展開	山形 弘隆	精神科神経科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

漏出細胞内タンパク質の細胞外機能: 組織損傷時の貪食細胞への作用と炎症・抗炎症調節	泉 友則	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症・死細胞因子と細胞外マトリクス連関を介した炎症性破骨細胞形成メカニズム	朝霧 成挙	薬理学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療的ケア児の経腸栄養製品の長期使用における免疫機能と腸内有機酸への影響	星出 まどか	小児科学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
股関節疾患におけるキネマティクス・キネティクスと患者満足度評価	坂井 孝司	整形外科科学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンキナーゼを標的としたインフラマソーム制御による新しい心不全治療	末富 建	第二内科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PDZRN3による核内のパラスペックルを介した新たな心筋分化制御機構の解明	本田 健	薬理学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COPDにおける身体非活動と認知機能障害の併存病態の解析システム構築	平野 綱彦	呼吸器・感染症内科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生因子を搭載した人工型エクソソームによる、難治性心疾患の新規治療法の開発	藏澄 宏之	器官病態外科学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

他家細胞を用いた機能強化型積層細胞シートによる難治性皮膚潰瘍の治療法の開発	柳原 正志	第一外科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メラニンによる卵子の質向上メカニズムの解明	田村 博史	産科婦人科学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
左冠動脈主幹部分岐部病変に対する最適なtwo stent治療の追求	藤村 達大	第二内科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自に誘導した食道癌幹細胞様細胞を用いた食道癌治療抵抗性の解析	渡邊 裕策	第二外科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍および宿主両面からみた複合バイオマーカー探索にもとづく肺癌個別化治療への展開	中島 正夫	第二外科	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高精細マルチパラメトリックMRIの定量値を用いた肺癌の化学療法効果予測	田辺 昌寛	放射線医学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜ジストロフィ表現型の規定因子の探索	山田 直之	眼科学講座	1,170,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝線維化改善効果評価法の確立のための基礎検討	原 和牙	検査部	1,058,705	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

「認知症高齢者の在宅復帰パス」の開発	清永 麻子	地域・老年看護学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
深在性かつ広範に跨る脳疾患部位を効果的に冷却できるハイブリッド脳冷却技術の開発	井上 貴雄	脳神経外科学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌術前がん免疫療法症例の腫瘍浸潤リンパ球を用いた抑制性免疫の解明	新藤 芳太郎	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
術後肝内再発抑制法開発に向けた肝癌幹細胞特異的なHLA抗原ペプチドの同定	兼清 信介	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標的ガングリオシドを遮蔽する糖脂質：ギラン・バレー症候群の発症と臨床像の規定因子	古賀 道明	臨床神経学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージングバイオマーカーによるCOPDの身体活動性障害の機序解明と解析	村田 順之	第二内科	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗EGFR抗体は大腸癌をHot tumorに変えることができるか	友近 忍	手術部	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
核内Fアクチン形成によるヒト子宮内膜間質細胞の脱落膜化機構の解明	田村 功	産科婦人科学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

Exercise, diet and brain training-based cocktail intervention for improving physical and cognitive	ホセイン マハブブ	公衆衛生学・予防医学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん患者の妊孕性選択を支える支援ツールの開発	紙谷 恵子	臨床看護学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クリティカルケア領域における包括的終末期ケアプログラムの開発	山勢 博彰	臨床看護学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん肺転移ニッチを構成する肺線維芽細胞の多様性の理解と転移抑制治療への応用	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児急性リンパ性白血病におけるNUDT遺伝子多型のディプロタイプ解析方法の確立	市村 卓也	小児科	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度センサー分子TRPM2を標的とした抗炎症作用による大動脈瘤新規薬物療法の開発	原田 剛佑	第一外科	1,040,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病の膵β細胞脱分化に対する治療標的の同定と予防法の開発	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵β細胞脱分化におけるTxnipシグナル解明に基づく糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

免疫細胞成分を含む癌ニッチ形成を応用した膀胱癌薬剤感受性プラットフォームの開発	松本 洋明	泌尿器科	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
転写因子WT1による子宮内膜間質細胞の脱落膜化と脂質代謝制御機構の解明	竹谷 俊明	産科婦人科	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜下線維化における網膜色素上皮を起点とした補体系経路の新たな作用機構の解明	木村 和博	眼科学講座	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
成体肺に潜在する再生能の再活性化に基づく肺再生療法の確立	清水 勇輝	基礎検査学講座	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト神経組織と喘息マウスを用いた急性弛緩性脊髄炎の病態解明と予防・治療応用	松重 武志	小児科	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を標的とした小胞体Ca ²⁺ リーク制御による新しい腎臓病治療法の開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
症例登録事業の根幹をなす精度検証とその向上に資する支援のあり方についての研究	石田 博	医療情報判断学講座	910,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期のメンタルヘルス調査とパートナーへの介入方法に関する研究	樋口 尚子	保健管理センター	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

3次元培養を用いたYAP代謝プロファイルの研究	古元 礼子	システムズ再生・病態医化学講座	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CyTOFによる大腸腫瘍浸潤CD4+FOXP3+細胞の解析と予後因子としての役割	吉田 晋	消化器・腫瘍外科学講座	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四次元CTから肝線維症を捉える革新的な硬度マップ構築法の開発と放射線治療への応用	藤本 昂也	放射線治療部	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージサイトメリーによるインターフェロンの抗腫瘍効果の解析	近藤 智子	分子病理学講座	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バーチャルヒューマンモデルを用いた一次救命処置の改良・開発	若松 弘也	集中治療部	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エイジング・イン・プレイスを実現する地域密着型事業所拠点の看取り支援体制の構築	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
濃縮骨髄液を用いた良性骨腫瘍切除後の再建法の開発	三原 惇史	整形外科	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血糖コントロールを重視したAkt2活性化による新たな脊髄保護法の開発	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

高齢者心不全に合併するサルコペニアの病態解明とその治療アルゴリズムの作成	立石 裕樹	その他(非常勤講師・学校医・学校薬剤師等)	780,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌に対する鉄キレート剤を用いた抗癌剤感受性向上と浸潤・転移抑制機構の基礎研究	篠田 崇平	第一内科	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
全ての患者に適応可能な代謝産物を標的とする革新的がん免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと水素ガス投与併用による神経保護効果の検討	山下 理	麻酔科蘇生科	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピゲノム情報の統合解析による顆粒膜細胞の黄体化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	白蓋 雄一郎	産科婦人科	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪量・分布とICU acquired weaknessの関連	古賀 靖卓	先進救急医療センター	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
運動学習における特異的GABAシナプス脱抑制のメカニズムとその意義	木田 裕之	神経生理学講座	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頸椎部圧迫性脊髄症の症状進展様式の解明	今城 靖明	整形外科学講座	650,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

記憶形成におけるGABAA受容体β3・Ser408-409リン酸化の機能的意義	崎本 裕也	神経生理学講座	520,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
傍脊椎神経ブロックによる側副血行増強に着目した新たな脊髄虚血保護戦略の検討	山下 敦生	麻酔・蘇生学講座	520,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高齢者のせん妄予防を目的とした快刺激映像の臨床応用	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	520,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知症発症に関連する因子の検討—特に栄養状態と体組成の観点から—	野垣 宏	地域・老年看護学講座	520,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
交感神経活性化に着目した進行性脂肪肝疾患における心血管イベント発症機序の解明	劉 金耀	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	512,820	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌の新規バイオマーカーとしての糖化・非糖化フェリチンの有用性の検討	石黒 旭代	検査部	480,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
筋線維芽細胞の機能発現に焦点を当てた網膜変性疾患に対する創薬研究	林 謙一郎	眼科	444,057	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タゾバクタム/ピペラシリンの初期治療効果を最大化する新しい個別最適投与方法の確立	河口 義隆	薬剤部	400,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

周産期・小児期において家族が「核」となるための遺伝看護実践能力の探索	村上 京子	母子看護学講座	390,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
数値流体力学血流解析による早期ステント被覆と新生動脈硬化の機序解明と治療最適化	宮崎 要介	第二内科	390,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ディープラーニングによる胃癌の深達度診断	五嶋 敦史	消化器内科学講座	390,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
線維性腸管狭窄に対するメカニズムの解明と臨床応用への検討	橋本 真一	光学医療診療部	390,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
強靱な3次元臓器構築に不可欠なメカノホメオスタシスの基本原理の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態医化学講座	336,539	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠先行型結婚をした夫婦へのケアプログラムの構築	河本 恵理	母子看護学講座	260,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ハイリスク症例に対する新しい脊椎脊髄手術モニタリングの開発	船場 真裕	整形外科学講座	260,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新人看護師が認識するチームの心理的安全性が看護実践能力に与える影響	浅海 菜月	基礎看護学講座	260,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

睡眠時における大脳皮質領域間の相互作用を定量する指標の提案	安部 武志	医学系研究科・医学部附属病院AIシステム医学・医療研究教育センター	260,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄由来肝臓修復細胞による高効率肝臓再生療法の先制的適応拡大研究と機序解明	坂井田 功	消化器内科学講座	143,953	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔細菌フソバクテリウム制御による大腸癌予防法の開発	河崎 啓介	歯科口腔外科	130,000	①補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タンパク質品質管理機構を制御する筋萎縮治療法の開発	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	2,000,000	①補 委	公益財団法人 上原記念生命科学財団
Inflammingに起因する骨格筋萎縮の病態解明	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	2,000,000	①補 委	(公財)アステラス病態代謝研究会
コレステロール欠乏による内臓逆位の発症機構	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	2,000,000	①補 委	(公財)アステラス病態代謝研究会
皮膚潰瘍治療に有効な乾燥線維芽細胞シートの長期保存条件の検討	柳原 正志	第一外科	2,000,000	①補 委	公益財団法人 テルモ生命科学振興財団
肺切除術における術後感染症に対するプロバイオティクスの予防効果の検証とメカニズムの解明	村上 順一	第一外科	2,000,000	①補 委	公益財団法人 武田科学振興財団

ヒトにおける糖代謝の概日リズムと時計遺伝子との関連性の検討	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,600,000	①補 委	公益財団法人 鈴木万平糖尿病財団
コレステロールによる臓器配置の左右決定機構	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	1,500,000	①補 委	公益財団法人 中外創薬科学財団
RyRを分子ターゲットとしたアントラサイクリン系抗腫瘍薬による心毒性の革新的回避法	中村 吉秀	第二内科	1,200,000	①補 委	公益財団法人宇部興産学術振興財団
川崎病及び冠動脈病変発症における自然リンパ球 (InnateLymphoidCells:ILCs) の関与	大西 佑治	小児科	1,100,000	①補 委	公益財団法人宮田心臓病研究振興基金
マウス嗅覚系におけるSTB/HAP1の発現および機能解析(医学)	升本 宏平	神経解剖学講座	1,000,000	①補 委	公益財団法人宇部興産学術振興財団
一次繊毛を起点としたコレステロール排出機構の解明(医学)	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	1,000,000	①補 委	公益財団法人宇部興産学術振興財団
加齢と生活習慣病による骨折治癒不全の病態解明とその治療法の開発(医学)	油形 公則	リハビリテーション部	1,000,000	①補 委	公益財団法人宇部興産学術振興財団
慢性呼吸器疾患における健康寿命喪失過程の解明と健康寿命予測システムの構築(医学)	大石 景士	呼吸器・感染症内科	1,000,000	①補 委	公益財団法人宇部興産学術振興財団

消化器癌に対する新規ペプチドワクチン療法による免疫原性の上昇と、免疫チェックポイント阻害剤併用の意義と機序解明(医学)	中島 正夫	第二外科	1,000,000	①補 委	公益財団法人宇部興産学術振興財団
カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症・線維化抑制による新規心不全治療薬の開発	末富 建	第二内科	1,000,000	①補 委	公益財団法人 先進医薬研究振興財団
リアノジン受容体結合カルモジュリン制御による革新的心肥大・心不全治療	中村 吉秀	第二内科	1,000,000	①補 委	公益財団法人 MSD 生命科学財団
スタチ果皮からの精製物質におけるインスリン分泌促進メカニズムの解明	田口 昭彦	病態制御内科学講座	1,000,000	①補 委	公益財団法人三島海雲記念財団
気分障害の病態生理の解明につながるエクソソームの機能解析	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	1,000,000	①補 委	公益財団法人 先進医薬研究振興財団
生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究	末富 建	第二内科	1,000,000	①補 委	公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団
血液脳関門に着目した神経変性の病態機序解明	西原 秀昭	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	1,000,000	①補 委	公益財団法人 ライフサイエンス振興財団
組織修復・再生療法での普及を目指したヒト乾燥積層線維芽細胞シートの開発	柳原 正志	第一外科	1,000,000	①補 委	公益財団法人日立財団

腫瘍の硬度イメージングを用いた頭頸部放射線治療の患者個別化支援システムの開発	藤本 昂也	放射線治療部	1,000,000	①補 委	公益財団法人 新日本先進医療研究財団
”Wfs1 欠損によるβ細胞機能障害とインクレチンの効果に関する研究 :ヒトの糖尿病病態と膵β細胞脱分化の関わり”	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	600,000	①補 委	公益財団法人 日本応用酵素協会
iPS細胞由来疾患別血液脳関門モデルを用いた神経変性・炎症疾患治療薬の開発	西原 秀昭	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	520,000	①補 委	公益信託成茂神経科学研究助成基金
小児機能性ディスペプシアにおける血中サイトカインと胃十二指腸細菌叢の関連性の検討	東 良紘	小児科	500,000	①補 委	公益財団法人 森永奉仕会
膵癌FOLFIRINOXにおける遺伝子多型による副作用予測と大腸癌FOLFOXIRIへの応用展開	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	500,000	①補 委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
血液脳関門を標的とした神経疾患の病態解明	西原 秀昭	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	300,000	①補 委	公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団
ALK陽性未分化大細胞リンパ腫の腫瘍細胞播種に関わるメカニズムの解明	深野 玲司	小児科	250,000	①補 委	(公財)がんの子どもを守る会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ishikawa T.; Egusa M.; Fujioka T.; Nishiyama N.; Kawamoto D.; Sasaki R.; Nishimura T.; Tanabe N.; Oono T.; Saeki I.; Takami T.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi, Ube, 7558505, Japan	A combination of liver stiffness and international normalized ratio is an ideal prognostic predictor of portosystemic shunt occlusion in patients with portal hypertension	Journal of Gastroenterology · 2023 Mar	Original Article
2	Goto A.; Kubota N.; Nishikawa J.; Ogawa R.; Hamabe K.; Hashimoto S.; Ogihara H.; Hamamoto Y.; Yanai H.; Miura O.; Takami T.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-kogushi 1-1-1, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Department of Laboratory Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, Japan; National Institute of Technology, Tokuyama College, Yamaguchi, Shunan, Japan; Division of Electrical, Electronic and Information Engineering, Yamaguchi University Graduate School of Sciences and Technology for Innovation, Yamaguchi, Ube, Japan; Department of Clinical Research, National Hospital Organization Kanmon Medical Center, Yamaguchi, Shimonoseki, Japan; Department of Surgery, Hofu Institute of Gastroenterology, Yamaguchi, Hofu, Japan	Cooperation between artificial intelligence and endoscopists for diagnosing invasion depth of early gastric cancer	Gastric Cancer · 2023 Jan	Original Article
3	Goto A.; Okamoto T.; Ogawa R.; Hamabe K.; Hashimoto S.; Nishikawa J.; Takami T.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center, Hofu, Japan; Faculty of Laboratory Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Intralesional steroid infusion using a spray tube to prevent stenosis after endoscopic submucosal dissection of esophageal cancer	Clinical Endoscopy · 2022 Jul	Original Article
4	Hamabe K.; Nishikawa J.; Goto A.; Ogawa R.; Hashimoto S.; Hoshii Y.; Iida M.; Nagano H.; Takami T.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Faculty of Laboratory Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Diagnostic Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Gastroenterological, Breast, and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Flower in the duodenum (with video)	Gastrointestinal Endoscopy · 2022 Aug	Case report

5	Nishimura T.; Ishikawa T.; Kawamoto D.; Sasaki R.; Matsuda T.; Takami T.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Japan	Drastic Improvement in Hepatitis B/C Virus- induced Decompensated Liver Cirrhosis Treated by Total Management Consisting of Interventional Radiology, Endoscopy, and Pharmacotherapy	Internal Medicine • 2022 Nov 1	Case report
6	Makoto Segawa, Norio Iizuka, Hiroyuki Ogihara, Koichiro Tanaka, Hajime Nakae, Koichiro Usuku, Kojiro Yamaguchi, Kentaro Wada, Akihiro Uchizono, Yuji Nakamura, Yoshihiro Nishida, Toshiko Ueda, Atsuko Shiota, Naoko Hasunuma, Kyoko Nakahara, Miwa Hebiguchi,	Department of Kampo Medicine, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan.	Objective evaluation of tongue diagnosis ability using a tongue diagnosis e- learning/e-assessment system based on a standardized tongue image database	Frontiers in Medical Technology • 2023 Mar 13	Original Article
7	Kobayashi S.; Yamamoto T.; Yoshiga Y.; Okamura T.; Kawano R.; Yano M.	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Innovation Center for Translational Research, National Center for Geriatrics and Gerontology, Aichi, Japan	Stabilizing Tetrameric Structure of Ryanodine Receptor Cures Lethal Arrhythmia in Heart Failure	Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology • 2022 Oct	Original article
8	Nagao Y.; Amo- Shiinoki K.; Nakabayashi H.; Hatanaka M.; Kondo M.; Matsunaga K.; Emoto M.; Okuya S.; Tanizawa Y.; Tanabe K.	Division of Endocrinology, Metabolism, Haematological Sciences and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, 755-8505, Japan; Department of Diabetes Research, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, 755-8505, Japan; Health Administration Centre, Organisation for University Education, Yamaguchi University, Yamaguchi, 753-8511, Japan	Gsk-3-Mediated Proteasomal Degradation of ATF4 Is a Proapoptotic Mechanism in Mouse Pancreatic β -Cells	International Journal of Molecular Sciences • 2022 Nov 5	Article

9	Nakamura Y.; Mori T.; Kako S.; Yamazaki H.; Kanda Y.; Uchida N.; Tanaka M.; Nawa Y.; Fukuda T.; Ichinohe T.; Atsuta Y.; Onishi Y.	Third Department of Internal Medicine, Yamaguchi University Hospital, 1-1-1 Minamikogushi, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Department of Hematology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan; Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Saitama, Japan; Division of Transfusion Medicine, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan; Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan; Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan; Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital, Matsuyama, Japan; Hematopoietic Stem Cell Transplantation Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan; Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan; Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagakute, Japan; Department of Registry Science for Transplant and Cellular Therapy, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan; Department of Hematology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan	Outcome of peripheral blood stem cell transplantation from HLA-identical sibling donors for adult patients with aplastic anemia	International Journal of Hematology • 2023 Mar	Article
10	Ruriko Fujimoto, Ysuharu Ohta, Konosuke Masuda, Akihiko Taguchi, Masaru Akiyama, Kaoru Yamamoto, Hiroko Nakabayashi, Yuko Nagao, Takuro Matsumura, Syunsuke Hiroshige, Yasuko Kajimura, Makoto Akashi, Yukio Tanizawa	Division of Endocrinology, Metabolism, Haematological Sciences and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, 755-8505, Japan; Department of Diabetes Research, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, 755-8505, Japan. The Research Institute for Time Studies, Yamaguchi University, Yamaguchi, 753-8511, Japan	Metabolic state switches between morning and evening in association with circadian clock in people without diabetes.	Journal of diabetes investigation • 2022 Sep	Original Article
11	Koga M.; Maeda T.; Shimizu F.; Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Neurotherapeutics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Autoantibodies against contactin-associated protein 1 and complexes of paranode-specific proteins in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy	Clinical and Experimental Neuroimmunology • 2022	Article
12	Fujisawa M.; Koga M.; Sato R.; Oishi M.; Takeshita Y.; Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Yamaguchi, Ube, 7558505, Japan	Spinal cord sarcoidosis in Japan: utility of cerebrospinal fluid examination and nerve conduction study for diagnosis and prognosis prediction	Journal of Neurology • 2022 Sep	Article
13	Fujisawa M.; Takeshita Y.; Fujikawa S.; Matsuo K.; Okamoto M.; Tamada M.; Shimizu F.; Sano Y.; Koga M.; Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Exploring lipophilic compounds that induce BDNF secretion in astrocytes beyond the BBB using a new multi-cultured human in vitro BBB model	Journal of Neuroimmunology • 2022	Article

14	Hideaki Nishihara, Sylvain Perriot, Benjamin D Gastfriend, Marel Steinfert, Celine Cibien, Sasha Soldati, Kinya Matsuo, Sarah Guimbal, Amandine Mathias, Sean P Palecek, Eric V Shusta, Renaud Du Pasquier, Britta Engelhardt	Theodor Kocher Institute, University of Bern, 3012 Bern, Switzerland	Intrinsic blood-brain barrier dysfunction contributes to multiple sclerosis pathogenesis.	Brain : a journal of neurology • 2022 Dec 19	Article
15	Sato R; Shimizu F; Kuwahara M; Mizukami Y; Watanabe K; Maeda T; Sano Y; Takeshita Y; Koga M; Kusunoki S; Kanda T	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Autocrine TNF- α Increases Penetration of Myelin-Associated Glycoprotein Antibodies Across the Blood-Nerve Barrier in Anti-MAG Neuropathy Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm.	Neurology: Neuroimmunology and Neuroinflammation • 2023 Feb 21	Article
16	Hirano T.; Matsunaga K.	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Japan	Measurement of Blood Eosinophils in Asthma and Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Internal Medicine • 2023 Jan 1	Review
17	Asami-Noyama M.; Harada M.; Hisamoto Y.; Kobayashi T.; Oishi K.; Edakuni N.; Hirano T.; Kakugawa T.; Matsunaga K.	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Yamaguchi University School of Medicine Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University School of Medicine Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Pulmonary and Gerontology, Yamaguchi University School of Medicine Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Platypnea-orthodeoxia syndrome in a patient with ongoing COVID-19	Respirology Case Reports • 2022 Aug	Case report
18	Oishi K.; Matsunaga K.; Yamamoto T.; Matsuda K.; Murata Y.; Hirano T.	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, 755-8505, Japan	Practical Recommendations for a Selection of Inhaled Corticosteroids in COPD: A Composite ICO Chart	Biomolecules • 2023 Jan 22	Review

19	<p>Oishi K.; Asami-Noyama M.; Yamamoto T.; Matsumori K.; Yonezawa K.; Watanabe M.; Hisamoto Y.; Fukatsu A.; Matsuda K.; Hamada K.; Suetake R.; Ohata S.; Murata Y.; Yamaji Y.; Sakamoto K.; Ito K.; Osoreda H.; Edakuni N.; Kakugawa T.; Hirano T.; Matsunaga K.</p>	<p>Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Respiratory Medicine, National Hospital Organization Yamaguchi-Ube Medical Center, Ube, Japan; Department of Pulmonology and Gerontology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan</p>	<p>Detection of impaired gas exchange using the 1-minute sit-to-stand test in patients with interstitial lung disease</p>	<p>Respiratory Investigation · 2023 Mar</p>	<p>Original Article</p>
20	<p>Oishi K.; Matsunaga K.; Asami-Noyama M.; Yamamoto T.; Hisamoto Y.; Fujii T.; Harada M.; Suizu J.; Murakawa K.; Chikumoto A.; Matsuda K.; Kanesada H.; Kikuchi Y.; Hamada K.; Uehara S.; Suetake R.; Ohata S.; Murata Y.; Yamaji Y.; Sakamoto K.; Ito K.; Osored</p>	<p>Department of Medicine and Clinical Science, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Respiratory Medicine, National Hospital Organization Yamaguchi-Ube Medical Center, Ube, Japan; Department of Pulmonology and Gerontology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan</p>	<p>The 1-minute sit-to-stand test to detect desaturation during 6-minute walk test in interstitial lung disease</p>	<p>npj Primary Care Respiratory Medicine · 2022</p>	<p>Original Article</p>
21	<p>Oishi K.; Azuma A.; Abe S.; Murata Y.; Sakamoto K.; Mimura Y.; Asami-Noyama M.; Kakugawa T.; Hirano T.; Matsunaga K.</p>	<p>Department of Clinical Research, National Hospital Organization Yamaguchi Ube Medical Center, Ube, Japan; Department of Medicine and Clinical Science, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Pulmonary Medicine and Oncology, School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan; Department of Respiratory Medicine, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan; Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Pulmonology and Gerontology, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan</p>	<p>Improved Prognostic Prediction by Combination of Early Initiation of Polymyxin B Hemoperfusion with Modified Gender-Age-Physiology Index in Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis</p>	<p>Blood Purification · 2022</p>	<p>Original Article</p>

22	Asami-Noyama M, Furuya-Kondo T, Suetake R, Matsuda K, Oishi K, Yamaji Y, Hirano T, Kakugawa T, Itoh H, Matsunaga K.	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Clinical Research, National Hospital Organization Yamaguchi Ube Medical Center, Ube, Japan; Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Pulmonary and Gerontology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Molecular Pathology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Invasive thymoma extending to the right atrium with superior vena cava syndrome presenting massive intracardiac thrombosis immediately after the start of chemotherapy: an autopsy case report	International Cancer Conference Journal • 2022 Apr	Case report
23	Matsubara T.; Chen C.; Hirotsu M.; Watanuki T.; Harada K.; Watanabe Y.; Matsuo K.; Nakagawa S.	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Kitunan Hospital, Yamaguchi, Japan; Southern Tohoku General Hospital, Fukushima, Japan; Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Saitama Medical University, Saitama, Japan	Prefrontal cortex activities during verbal fluency and emotional words tasks in major depressive, adjustment, and bipolar disorders with depressive states	Journal of Affective Disorders • 2022 Nov	Article
24	Chen C.; Mochizuki Y.; Hagiwara K.; Hirotsu M.; Matsubara T.; Nakagawa S.	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan; Center for Data Science, Waseda University, 1-6-1 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8050, Japan	Computational markers of experience- but not description-based decision-making are associated with future depressive symptoms in young adults	Journal of Psychiatric Research • 2022 Oct	Article
25	Chen C.; Yau S.Y.; Clemente F.M.; Ishihara T.	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Rehabilitation Sciences, Faculty of Health and Social Sciences, Hong Kong Polytechnic University, Kowloon, Hong Kong; Mental Health Research Centre, Hong Kong Polytechnic University, Kowloon, Hong Kong; Escola Superior Desporto e Lazer, Instituto Politécnico de Viana do Castelo, Viana do Castelo, Portugal; Instituto de Telecomunicações, Delegação da Covilhã, Covilhã, Portugal; Graduate School of Human Development and Environment, Kobe University, Kobe, Japan	The effects of physical activity and exercise on cognitive and affective wellbeing	Frontiers in Behavioral Neuroscience • 2022 Nov	Editorial

26	Chen C.	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Recent advances in the study of the comorbidity of depressive and anxiety disorders	Advances in Clinical and Experimental Medicine • 2022 Apr	Article
27	Chong Chen, Ryo Okubo, Sumiyo Okawa, Naoko Higuchi, Shin Nakagawa, Takahiro Tabuchi	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan.	The prevalence and risk factors of suicidal ideation in pregnancy and the postpartum under the COVID-19 pandemic in Japan	Psychiatry and Clinical Neurosciences • 2023 Mar	Article
28	Matsuguma C.; Takahashi K.; Okada S.; Hasegawa S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Severe persistent pulmonary hypertension in a neonate with Rubinstein-Taybi syndrome accompanied by triple X syndrome	Pediatrics and Neonatology • 2022 Mar	Letter
29	Okada S.; Yasudo H.; Ohnishi Y.; Matsuguma C.; Fukano R.; Motonaga T.; Waniishi T.; Hasegawa S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Interleukin-33/ST2 Axis as Potential Biomarker and Therapeutic Target in Kawasaki Disease	Inflammation • 2023 Feb	Article
30	Ohnishi Y.; Okada S.; Kawakami-Miyake A.; Furuta T.; Fukano R.; Yasudo H.; Shimokawa M.; Hasegawa S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Department of Biostatistics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, Japan	Safety and Feasibility of Infliximab Therapy in Children with Kawasaki Disease Who Received Live Vaccinations	Pediatric Infectious Disease Journal • 2022 Sep 1	Article
31	Sasagu Kimura, Kazumasa Takahashi, Hidenobu Kaneyasu, Yosuke Fujimoto, Naoki Ohta, Seigo Okada, Shunji Hasegawa	General Perinatal Medical Center, Yamaguchi University Hospital.; Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	Successful Treatment of Saddle Pulmonary Thromboembolism in 23-Week Preterm Infant.	International heart journal • 2022 Nov 14	Case report
32	Yasufumi Sakata, Reiji Hirano, Hiroki Yasudo, Yutaka Shimomura, Hidetoshi Takata, Yutaka Shimomura, Shouichi Ohga, Shunji Hasegawa	Department of Pediatrics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Department of Biostatistics, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, Japan	A Novel Mutation in IKBKG Gene in A Female Child with Incontinentia Pigmenti	The bulletin of the Yamaguchi Medical School • 2022 June	Case report

33	Suzuki R.; Kurazumi H.; Nawata R.; Yokoyama T.; Matsunaga K.; Tsubone S.; Matsuno Y.; Tomisada K.; Shirasawa B.; Mikamo A.; Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Division of Cardiac Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Center of Medical Electronics Maintenance, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan	Validity of direct bilateral axillary arterial cannulation in emergency surgery for acute type A aortic dissection	Journal of Cardiac Surgery · 2022 Dec	Article
34	Suzuki R.; Kurazumi H.; Nawata R.; Yokoyama T.; Tsubone S.; Matsuno Y.; Shirasawa B.; Mikamo A.; Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Division of Cardiac Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, Japan	Intimal-protected adventitial inversion technique accelerates the obliteration of a patent false lumen	Journal of Cardiac Surgery · 2022 Sep	Article
35	Kurazumi H.; Suzuki R.; Nawata R.; Yokoyama T.; Tsubone S.; Mikamo A.; Hamano K.	Division of Cardiac Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Impact of the no-touch harvesting technique on the vessel diameter of saphenous vein grafts for coronary artery bypass grafting	JTCVS Techniques · 2022 Oct	Article
36	Kurazumi H.; Suzuki R.; Mikamo A.; Hamano K.	Division of Cardiac Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Reply from authors: The perivascular adipose tissue is a versatile “jacket” that the saphenous vein wears inherently	JTCVS Techniques · 2022 Sep	Letter
37	Suehiro K.; Morikage N.; Harada T.; Takeuchi Y.; Mizoguchi T.; Ike S.; Otuska R.; Kurazumi H.; Suzuki R.; Hamano K.	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Post-treatment course of acute lipodermatosclerosis	Phlebology · 2023 Mar	Article
38	Hiroshi Kurazumi, Ryo Suzuki, Ryosuke Nawata, Toshiki Yokoyama, Sarii Tsubone, Yutaro Matsuno, Akihito Mikamo, Kimikazu Hamano	Division of Cardiac Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan.	Feasibility of open chest management with modified negative pressure wound therapy immediately after cardiac surgery.	Interactive cardiovascular and thoracic surgery · 2022 Jun 15	Article
39	Suehiro K, Morikage N, Harada T, Samura M, Nagase T, Takeuchi Y, Mizoguchi T, Ike S, Suzuki R, Hamano K	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Effects of leg compression and calf muscle contraction by active ankle motion on venous hemodynamics in sitting individuals	Phlebology · 2022 Jun	Article

40	Suehiro K, Yukie M, Morikage N, Harada T, Samura M, Nagase T, Takeuchi Y, Mizoguchi T, Suzuki R, Kurazumi H, Hamano K	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan. Department of Nursing, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan	Hardness Sensed by Skin Palpation in Legs with Lymphedema Is Predominantly Correlate with Dermal Thickening	Lymphatic Research And Biology • 2022 Aug	Article
41	Kurazumi H, Suzuki R, Shirasawa B, Miyazaki Y, Tateishi H, Oda T, Okamura T, Mikamo A, Yano M, Hamano K	Division of Cardiac Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine. Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine.	Early and Long-Term Outcomes of Transcatheter Aortic Valve Replacement for Selected Nonagenarians in Japan	Circulation Journal • 2022 Oct	Article
42	Iida M.; Takeda S.; Nakashima C.; Nishiyama M.; Watanabe Y.; Suzuki N.; Yoshino S.; Nakagami Y.; Tanabe T.; Nagano H.	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; National Hospital Organization Kanmon Medical Center, Yamaguchi, Japan; Department of Public Health and Preventive Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Risk factors for non-gastric-cancer-related death after gastrectomy in elderly patients	Annals of Gastroenterological Surgery • 2022 Nov	Original Article
43	Tokumitsu Y.; Tamesa T.; Shindo Y.; Sakamoto K.; Nagano H.	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Surgery, Tokuyama Central Hospital, Shunan, Japan; Department of Surgery, National Hospital Organization Kanmon Medical Center, Shimonoseki, Japan	Application and utility of surgical techniques for cystic plate isolation in liver surgery	Annals of Gastroenterological Surgery • 2022 Sep	Original Article

44	<p>Ioka T.; Kanai M.; Kobayashi S.; Sakai D.; Eguchi H.; Baba H.; Seo S.; Taketomi A.; Takayama T.; Yamaue H.; Takahashi M.; Sho M.; Kamei K.; Fujimoto J.; Toyoda M.; Shimizu J.; Goto T.; Shindo Y.; Yoshimura K.; Hatano E.; Nagano H.</p>	<p>Department of Oncology Center, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Cancer Survey and Gastrointestinal Oncology, Osaka International Cancer Institute, Osaka, Japan; Department of Medical Oncology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan; Department of Gastroenterological Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan; Department of Frontier Science for Cancer and Chemotherapy, Osaka University, Osaka, Japan; Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan; Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University, Kumamoto, Japan; Department of Surgery, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan; Department of Gastroenterological Surgery I, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Hokkaido, Japan; Department of Digestive Surgery, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan; Second Department of Surgery, School of Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama, Japan; Department of Medical Oncology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan; Department of Surgery, Nara Medical University, Nara, Japan; Department of Surgery, Kindai University Faculty of Medicine, Osaka, Japan; Department of Gastroenterological Surgery, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan; Department of Medical Oncology/Hematology, Kobe University Hospital and Graduate School of Medicine, Hyogo, Japan; Department of Surgery, Toyonaka Municipal Hospital, Osaka, Japan; Division of Gastroenterology and Hematology/Oncology, Department of Medicine, Asahikawa Medical University, Hokkaido, Japan; Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Medical Center for Clinical and Translational Research, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan</p>	<p>Randomized phase III study of gemcitabine, cisplatin plus S-1 versus gemcitabine, cisplatin for advanced biliary tract cancer (KHBO1401-MITSUBA)</p>	<p>Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences · 2023 Jan</p>	<p>Original Article</p>
45	<p>Yamada K, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Ikeda Y, Nagano H</p>	<p>Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan</p>	<p>Surgical shunt ligation for a congenital extrahepatic portosystemic shunt with pulmonary hypertension : A case report</p>	<p>Int J Surg Case Rep · 2022 Apr</p>	<p>Original Article</p>
46	<p>Nakagami Y, Hazama S, Suzuki N, Yoshida S, Tomochika S, Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Watanabe Y, Iida M, Tsunedomi R, Takeda S, Fujita T, Kawakami Y, Ogihara H, Hamamoto Y, Ioka T, Tanabe T, Ueno T, Nagano H</p>	<p>Department of Translational Research and Developmental Therapeutics Against Cancer, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan Department of Public Health and Preventive Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan</p>	<p>CD4 and FOXP3 as predictive markers for the recurrence of T3/T4a stage II colorectal cancer : applying a novel discrete Bayes decision rule</p>	<p>BMC Cancer · 2022 Oct</p>	<p>Original Article</p>
47	<p>Kimura Y, Tsunedomi R, Yoshimura K, Matsukuma S, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Nagano H</p>	<p>Department of Gastroenterological, Breast, and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan</p>	<p>Immune Evasion of Hepatoma Cancer Stem-Like Cells from Natural Killer Cells</p>	<p>Ann Surg Oncol · 2022 Nov</p>	<p>Original Article</p>

48	<p>Chidimatsu H, Tsunedomi R, Nakagami Y, Xu M, Nakajima M, Nakashima-Nakasuga C, Tomochika S, Yoshida S, Suzuki N, Watanabe Y, Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Iida M, Takeda S, Ioka T, Ueno T, Tanabe T, Hoshii Y, Hazama S, Nagano H</p>	<p>Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan</p>	<p>Serum CCL7 Is a Novel Prognostic Biomarker of Metastatic Colorectal Cancer</p>	<p>Anticancer Res • 2023 Jan</p>	<p>Original Article</p>
49	<p>Kanesada K, Tsunedomi R, Hazama S, Ogihara H, Hamamoto Y, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H</p>	<p>Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan</p>	<p>Association between a single nucleotide polymorphism in the R3HCC1 gene and irinotecan toxicity</p>	<p>Cancer Med • 2023 Feb</p>	<p>Original Article</p>
50	<p>Xu M, Tsunedomi R, Kiyotani K, Tomochika S, Furuya K, Nakajima M, Matsui H, Tokumitsu Y, Shindo Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Nagano H</p>	<p>Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan</p>	<p>Anti-VEGF and Anti-EGFR Antibody Therapy on T-Cell Infiltration and TCR Variation in Metastatic Colorectal Cancer</p>	<p>Anticancer Res • 2023 Feb</p>	<p>Original Article</p>
51	<p>Shindo Y, Nagano H, Kanai M, Kobayashi S, Wada H, Sakai D, Eguchi H, Baba H, Kamachi H, Takayama T, Ueno M, Takahashi M, Nakagami Y, Yoshimura K, Hatano E, Ioka T</p>	<p>Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan</p>	<p>Clinical outcomes of second-line chemotherapy after gemcitabine and cisplatin plus S-1 treatment for patients with advanced biliary tract cancer in the KHBO1401-3A study</p>	<p>Oncol Rep • 2023 Feb</p>	<p>Original Article</p>

52	Nakajima M, Hazama S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakagami Y, Tamada K, Udaka K, Sakamoto M, Saito A, Kouki Y, Uematsu T, Xu M, Iida M, Tsunedomi R, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Doi S, Nagano H	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Phase I study of a novel therapeutic vaccine as perioperative treatment for patients with surgically resectable hepatocellular carcinoma : The YCP02 trial	Hepato Res · 2023 Mar	Original Article
53	Imajo Y.; Nishida N.; Funaba M.; Nagao Y.; Suzuki H.; Sakai T.	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	C5 Palsy of Patients with Proximal-Type Cervical Spondylotic Amyotrophy	Asian Spine Journal · 2022 Oct	Article
54	Funaba M.; Kanchiku T.; Kobayashi K.; Yoshida G.; Machino M.; Yamada K.; Shigematsu H.; Tadokoro N.; Ushirozako H.; Takahashi M.; Yamamoto N.; Morito S.; Kawabata S.; Fujiwara Y.; Ando M.; Taniguchi S.; Iwasaki H.; Wada K.; Yasuda A.; Hashimoto J.; Takata	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi Rosai Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University, Nara, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Kochi University, Kochi, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Kyorin University, Tokyo, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Adachi Medical Center, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Hiroshima City Asa Citizens Hospital, Hiroshima, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Kansai Medical University, Osaka, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Wakayama Medical University, Wakayama, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Hirosaki University, Hirosaki, Japan; Department of Orthopedic Surgery, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan; Division of Central Clinical Laboratory, Nara Medical University, Nara, Japan	The Utility of Transcranial Stimulated Motor-Evoked Potential Alerts in Cervical Spine Surgery Varies Based on Preoperative Motor Status	Spine · 2022 Dec 1	Article
55	Funaba M.; Imajo Y.; Suzuki H.; Nishida N.; Sakamoto T.; Sakai T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	The Deterioration of Cervical Kyphosis During Neck Flexion after Laminoplasty Affects the Surgical Outcome of Cervical Spondylotic Myelopathy	Global Spine Journal · 2022 Apr 29	Article

56	Suzuki H.; Tahara S.; Mitsuda M.; Izumi H.; Ikeda S.; Seki K.; Nishida N.; Funaba M.; Imajo Y.; Yukata K.; Sakai T.	Department of Orthopaedics Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, 755-8505, Japan; Pain Management Research Institute, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, 755-8505, Japan; Department of Rehabilitation, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Current Concept of Quantitative Sensory Testing and Pressure Pain Threshold in Neck/Shoulder and Low Back Pain	Healthcare (Switzerland) · 2022 Aug 7	Review
57	Suzuki H.; Imajo Y.; Funaba M.; Ikeda H.; Nishida N.; Sakai T.	Department of Orthopedics Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Current Concepts of Biomaterial Scaffolds and Regenerative Therapy for Spinal Cord Injury	International Journal of Molecular Sciences · 2023 Jan 28	Review
58	Imagama T.; Matsuki Y.; Kaneoka T.; Kawakami T.; Seki K.; Seki T.; Hirata K.; Okazaki T.; Tanaka H.; Sakai T.	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, 7558505, Japan; Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center, Hofu, Japan	Comparing postoperative outcomes of two fully hydroxyapatite-coated collarless stems in total hip arthroplasty through propensity score matching analysis with 2 years follow-up	Scientific Reports · 2022 Nov 21	Article
59	Nishida N.; Tripathi S.; Mumtaz M.; Kelkar A.; Kumaran Y.; Sakai T.; Goel V.K.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Engineering Center for Orthopaedic Research Excellence, Departments of Bioengineering and Orthopaedics, University of Toledo, Toledo, OH, United States	The Effect of Anterior-Only, Posterior-Only, and Combined Anterior Posterior Fixation for Cervical Spine Injury with Soft Tissue Injury: A Finite Element Analysis	World Neurosurgery · 2023 Mar	Article
60	Nishida N.; Mumtaz M.; Tripathi S.; Kelkar A.; Kumaran Y.; Sakai T.; Goel V.K.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi Prefecture, Ube City, 755-8505, Japan; Engineering Center for Orthopaedic Research Excellence (E-CORE), Departments of Bioengineering and Orthopaedics, The University of Toledo, Toledo, OH, United States	Biomechanical analysis of laminectomy, laminoplasty, posterior decompression with instrumented fusion, and anterior decompression with fusion for the kyphotic cervical spine	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery · 2022 Sep	Article
61	Nishida N.; Mumtaz M.; Tripathi S.; Kelkar A.; Mendoza J.; Kumaran Y.; Goel V.K.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi Prefecture, Ube City, 755-8505, Japan; Engineering Center for Orthopaedic Research Excellence (E-CORE), Departments of Bioengineering and Orthopaedics, The University of Toledo, Toledo, 43606, OH, United States	Laminoplasty on Kyphotic Cervical Alignments Suggests Poor Surgical Outcomes: A Comparative Finite Element Analysis of Laminoplasty on Different Alignments	Applied Sciences (Switzerland) · 2022 Sep	Article

62	Nishida N.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Special Issue "Spine and Spinal Cord Biomechanics and Rehabilitation"	Applied Sciences (Switzerland) • 2022 Sep	Editorial
63	Nishida N.; Tripathi S.; Mumtaz M.; Kelkar A.; Kumaran Y.; Sakai T.; Goel V.K.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi Prefecture, Ube City, Japan; Engineering Center for Orthopaedic Research Excellence (E-CORE), Departments of Bioengineering and Orthopaedics, The University of Toledo, Toledo, OH, United States	Soft Tissue Injury in Cervical Spine Is a Risk Factor for Intersegmental Instability: A Finite Element Analysis	World Neurosurgery • 2022 Aug	Article
64	Nishida N.; Jiang F.; Asano T.; Tome R.; Kumaran Y.; Imajo Y.; Suzuki H.; Funaba M.; Ohgi J.; Chen X.; Sakai T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi Prefecture, Ube City, 755-8505, Japan; Faculty of Engineering, Yamaguchi University, 2-16-1 Tokiwadai, Yamaguchi Prefecture, Ube City, 755-8611, Japan; Engineering Center for Orthopaedic Research Excellence (E-CORE), Departments of Bioengineering and Orthopaedics, The University of Toledo, Toledo, 43606, OH, United States	Effect of posterior decompression with and without fixation on a kyphotic cervical spine with ossification of the posterior longitudinal ligament	Spinal Cord • 2023 Feb	Article
65	Yukata K.; Shukunami C.; Matsui Y.; Takimoto A.; Goto T.; Takahashi M.; Mihara A.; Seto T.; Sakai T.; Hiraki Y.; Yasui N.	Department of Orthopaedics, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School, Tokushima, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Molecular Biology and Biochemistry, Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan; Department of Cellular Differentiation, Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan	Chondromodulin is necessary for cartilage callus distraction in mice	PLoS ONE • 2023	Article
66	Toshihiro Seki, Eiichi Shiigi, Kazushige Seki, Koji Yoshida, Tomoya Okazaki, Kazuya Uehara, Hiroshi Tanaka, Takashi Sakai	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan.	Repair of patellar tendon rupture after total knee arthroplasty using knotless suture bridge technique: a case report	Journal of Surgical Case Reports • 2022 Jun 1	Article

67	Yagi S.; Yasuno S.; Ansai O.; Hayashi R.; Shimomura Y.	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Plastic Surgery, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan; Division of Dermatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	Different degree of loss-of-function among four missense mutations in the EDAR gene responsible for autosomal recessive hypohidrotic ectodermal dysplasia may be associated with the phenotypic severity	Journal of Dermatology • 2023 Mar	Article
68	Matsumoto H.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Ube, Japan	Editorial Comment to Significance of second progression-free survival in patients with advanced urothelial cancer who received platinum-based combination chemotherapy followed by pembrolizumab	International Journal of Urology • 2023 Feb 14	Note
69	Nakamura K.; Isoyama N.; Nakayama Y.; Hiroyoshi T.; Fujikawa K.; Miura Y.; Kurosu H.; Matsuyama H.; Kuro-o M.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan; Division of Anti-Aging Medicine, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, 3311-1 Yakushiji, Tochigi, Shimotsuke, 329-0498, Japan	Association between amorphous calcium-phosphate ratios in circulating calciprotein particles and prognostic biomarkers in hemodialysis patients	Scientific Reports • 2022 Jul 29	Article
70	Kobayashi K.; Matsuyama H.; Oka S.; Nakamura K.; Misumi T.; Hiroyoshi T.; Ito H.; Isoyama N.; Hirata H.; Matsumoto H.; Shiraishi K.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Risks and benefits of transurethral resection of the bladder tumor using photodynamic diagnosis with oral 5-aminolevulinic acid hydrochloride according to age and history of recurrence in patients with non-muscle invasive bladder cancer	Photodiagnosis and Photodynamic Therapy • 2023 Jan 18	Article
71	Kobayashi K.; Matsumoto H.; Misumi T.; Ito H.; Hirata H.; Nagao K.; Matsuyama H.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Urology, Shuto General Hospital, Yamaguchi, Japan	The efficacy of trimodal chemoradiotherapy with gemcitabine and cisplatin as a bladder-preserving strategy for the treatment of muscle-invasive bladder cancer: a single-arm phase II study	Japanese journal of clinical oncology • 2022	Article
72	Oka S.; Matsukuma H.; Horiguchi N.; Kobayashi T.; Shiraishi K.	Department of Urology, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan; Department of Reproductive Medicine, School of Medicine, Chiba University, Chuoku, Chiba, 260-8677, Japan	Heat stress upregulates aromatases expression through nuclear DAX-1 deficiency in R2C Leydig tumor cells	Molecular and Cellular Endocrinology • 2022 Dec 1	Article
73	Yanai R.; Okunuki Y.; Park D.H.; Zunaina E.	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Janssen Biopharma, South San Francisco, CA, United States; Department of Ophthalmology, School of Medicine, Kyungpook National University, Kyungpook National University Hospital, Daegu, South Korea; Cell and Matrix Research Institute, Kyungpook National University, Daegu, South Korea; Department of Ophthalmology and Visual Science, School of Medical Sciences, Universiti Sains Malaysia, Kubang Kerian, Malaysia	Editorial: Next Therapeutic Targets in Ocular Diseases	Frontiers in Medicine • 2022	Editorial

74	Ohta M.; Wakuta M.; Sakuma A.; Hasegawa M.; Hamada W.; Higashijima F.; Yoshimoto T.; Ogata T.; Kobayashi Y.; Kimura K.	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Clinical Research Center, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan	Evaluation of corneal hysteresis after pars plana vitrectomy combined phacoemulsification and intraocular lens implantation	Scientific Reports · 2022 Aug 26	Article
75	Hashimoto M.; Koizuka I.; Yamashita H.; Suzuki M.; Omori K.; Origasa H.; Takeda N.; Shojaku H.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 2-16-1 Sugao, Miyamae-ku Kawasaki, Ube, 216-8511, Japan; Department of Otolaryngology, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, Japan; Department of Otolaryngology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan; Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan; Department of Biostatistics and Clinical Epidemiology, Faculty of Medicine, University of Toyama, Toyama, Japan; Department of Otolaryngology, University of Tokushima School of Medicine, Tokushima, Japan; Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery, Faculty of Medicine, University of Toyama, Toyama, Japan	Diagnostic and therapeutic strategies for vestibular neuritis of the Japan society for equilibrium research	Auris Nasus Larynx · 2022 Dec 27	Review
76	Tanabe M, Kunihiro Y, Higashi M, Ihara K, Tanabe M, Yagi T, Kobayashi T, Ueda T, Ito K	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan; Advanced Medical Emergency and Critical Care Center, Yamaguchi University Hospital, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Pancreatic Steatosis Evaluated by Automated Volumetric CT Fat Fraction of the Pancreas: Association with Severity in COVID-19 Pneumonia	Tomography · 2022 Nov	Original Article
77	Tanabe M, Matsui H, Higashi M, Tokumitsu Y, Nagano H, Ito K.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Pancreatic liposarcoma: a case report	Abdominal Radiology · 2022 Jun	Case report
78	Higashi M, Tanabe M, Yonezawa T, Furukawa M, Iida E, Ito K	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan	The pancreatic exocrine function in patients with pancreatic endocrine insufficiency: the evaluation with cine-dynamic magnetic resonance cholangiopancreatography using a spatially selective inversion-recovery pulse	Japanese Journal of Radiology · 2022 Jul	Original Article
79	Kunihiro Y, Tanaka N, Kawano R, Yujiri T, Ueda K, Gondo T, Kobayashi T, Matsumoto T, Ito K	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan. kyoshie@yamaguchi-u.ac.jp.	High-resolution CT findings of pulmonary infections in patients with hematologic malignancy: comparison between patients with or without hematopoietic stem cell transplantation	Japanese Journal of Radiology · 2022 Aug	Original Article

80	Tanabe M, Onoda H, Higashi M, Morooka R, Ihara K, Tanabe M, Matsukuma M, Iida E, Furukawa M, Ito K	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan. kyoshie@yamaguchi-u.ac.jp.	Three-Dimensional (3D) Breath-Hold Zoomed MR Cholangiopancreatography (MRCP): Evaluation of Additive Value to Conventional 3D Navigator Triggering MRCP in Patients With Branch Duct Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms	Journal of Magnetic Resonance Imaging · 2022 Apr	Original Article
81	Fujimoto K.; Shinoki T.; Yuasa Y.; Kawazoe Y.; Yamane M.; Sera T.; Tanaka H.	Department of Radiation Oncology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minamikogushi, Yamaguchi, Ube, 755-8535, Japan; Department of Radiological Technology, Yamaguchi University Hospital, 1-1-1 Minamikogushi Yamaguchi, Ube, 755-8535, Japan	Assessing liver fibrosis distribution through liver elasticity estimates obtained using a biomechanical model of respiratory motion with magnetic resonance elastography	Physics in Medicine and Biology · 2022 Jul 19	Article
82	Maekawa R.; Sato S.; Tamehisa T.; Sakai T.; Kajimura T.; Sueoka K.; Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, 755-8505, Japan	Different DNA methylome, transcriptome and histological features in uterine fibroids with and without MED12 mutations	Scientific Reports · 2022 May 26	Article
83	Tamura I.; Tamura H.; Kawamoto-jozaki M.; Shirafuta Y.; Fujimura T.; Doi-tanaka Y.; Mihara Y.; Taketani T.; Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Minamikogushi 1-1-1, Ube, 755-8505, Japan	Effects of Melatonin on the Transcriptome of Human Granulosa Cells, Fertilization and Blastocyst Formation	International Journal of Molecular Sciences · 2022 Jun 16	Article
84	Nakamura M, Nakamura J, Mochizuki C, Kuroda C, Kato S, Haruta T, Kakefuda M, Sato S, Tamanoi F, Sugino N	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, 755-8505, Japan	Analysis of cell-nanoparticle interactions and imaging of in vitro labeled cells showing barcoded endosomes using fluorescent thiol-organosilica nanoparticles surface-functionalized with polyethyleneimine.	Nanoscale Advances · 2022 May 6	Article
85	Takagi H, Tamura I, Fujimura T, Doi-Tanaka Y, Shirafuta, Y, Mihara Y, Maekawa R, Taketani T, Sato S, Tamura H, Sugino N	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, 755-8505, Japan	Transcriptional coactivator PGC-1 α contributes to decidualization by forming a histone-modifying complex with C/EBP β and p300.	Journal of Biological Chemistry · 2022 May	Article

86	Kiyotaka Shiramoto, Hiroya Wakamatsu, Yusuke Kametani, Satoshi Matsumoto, Keisuke Ota, Tomoyuki Morioka, Kaori Harada, Mishiya Matsumoto	Intensive Care Unit Yamaguchi University Hospital, Department of Anesthesiology Yamaguchi University Hospital, Department of Anesthesiology Yamaguchi University Graduate School of Medicine	Effect of high body mass index on postoperative pulmonary complications: a retrospective study	Ain-Shams Journal of Anesthesiology • 2023.3	Original Article
87	Nomura S.; Oka F.; Fujii N.; Nishimoto T.; Ishihara H.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Outcome prediction of pediatric moyamoya disease using midterm cerebral blood flow measured between staged anastomoses	Child's Nervous System • 2023 Feb 22	Article
88	Nomura S.; Haji K.; Fujiyama Y.; Nishimoto T.; Oka F.; Ishihara H.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University, School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Endoscopically observed outer membrane of chronic subdural hematoma after endovascular embolization of middle meningeal artery	Surgical Neurology International • 2022 Nov 11	Article
89	Oka F.; Sadeghian H.; Yaseen M.A.; Fu B.; Kura S.; Qin T.; Sakadžić S.; Sugimoto K.; Inoue T.; Ishihara H.; Nomura S.; Suzuki M.; Ayata C.	Neurovascular Research Laboratory, Department of Radiology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, 02129, MA, United States; Department of Neurosurgery, Yamaguchi Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Optics Division, MGH/MIT/HMS Athinoula A Martinos Center for Biomedical Imaging, Department of Radiology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, 02129, MA, United States; Department of Advanced ThermoNeuroBiology, Yamaguchi Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan; Stroke Service, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, 02129, MA, United States	Intracranial pressure spikes trigger spreading depolarizations	Brain • 2022 Mar 29	Article

90	<p>Oka F.; Lee J.H.; Yuzawa I.; Li M.; Von Bornstaedt D.; Eikermann-Haerte K.; Qin T.; Chung D.Y.; Sadeghian H.; Seidel J.L.; Imai T.; Vuralli D.; Platt R.M.; Nelson M.T.; Joutel A.; Sakadzic S.; Ayata C.</p>	<p>Neurovascular Research Unit, Department of Radiology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, United States; Department of Neurosurgery, Yamaguchi Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Therapeutics & Biotechnology Division, Korea Research Institute of Chemical Technology, Daejeon, South Korea; Department of Pharmacology, Larner College of Medicine, University of Vermont, Burlington, VT, United States; Division of Cardiovascular Sciences, University of Manchester, Manchester, United Kingdom; Institute of Psychiatry and Neuroscience of Paris – INSERM U1266, Université de Paris, GHU Paris Psychiatrie et Neurosciences, Hôpital Sainte Anne, Paris, France; Athinoula A. Martinos Center for Biomedical Imaging, Department of Radiology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Charlestown, MA, United States; Stroke Service, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, United States</p>	<p>CADASIL mutations sensitize the brain to ischemia via spreading depolarizations and abnormal extracellular potassium homeostasis</p>	<p>Journal of Clinical Investigation • 2022 Apr 15</p>	<p>Article</p>
91	<p>Hiroshi Moriyama, Sadahiro Nomura, Hirochika Imoto, Fumiaki Oka, Yuichi Maruta, Naomasa Mori, Natsumi Fujii, Michiyasu Suzuki, Hideyuki Ishihara</p>	<p>Departments of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan; Epilepsy Center, Yamaguchi University Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan</p>	<p>Suppressive effects of a transient receptor potential melastatin 8 (TRPM8) agonist on hyperthermia-induced febrile seizures in infant mice</p>	<p>Frontiers in Pharmacology • 2023 Mar 9</p>	<p>Article</p>
92	<p>Yamasaki T.; Saeki I.; Yamauchi Y.; Matsumoto T.; Suehiro Y.; Kawaoka T.; Uchikawa S.; Hiramatsu A.; Aikata H.; Kobayashi K.; Kondo T.; Ogasawara S.; Chiba T.; Takami T.; Chayama K.; Kato N.; Sakaida I.</p>	<p>Department of Oncology and Laboratory, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology and Metabolism, Applied Life Sciences, Institute of Biomedical & Health Science, Hiroshima University, Hiroshima, Japan; Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan; Translational Research and Development Center, Chiba University Hospital, Chiba, Japan; Collaborative Research Laboratory of Medical Innovation, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan; Research Center for Hepatology and Gastroenterology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan; RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, Yokohama, Japan</p>	<p>Management of Systemic Therapies and Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma Based on Sarcopenia Assessment</p>	<p>Liver Cancer • 2022 Jul</p>	<p>Review</p>

93	<p>Suehiro Y.; Suenaga S.; Kunimune Y.; Yada S.; Hamamoto K.; Tsuyama T.; Amano S.; Matsui H.; Higaki S.; Fujii I.; Suzuki C.; Hoshida T.; Matsumoto T.; Fujimoto Y.; Kaino S.; Shinjo K.; Kondo Y.; Sakaida I.; Takami T.; Nagano H.; Yamasaki T.</p>	<p>Department of Oncology, Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Gastroenterology, St. Hill Hospital, Ube, Japan; Department of Health Screening, Ajisu Kyoritsu Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Internal Medicine, Ajisu Kyoritsu Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology, Nagato General Hospital, Nagato, Japan; Department of Gastroenterology, National Hospital Organization Kanmon Medical Center, Shimonoseki, Japan; Division of Cancer Biology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan</p>	<p>CA19-9 in Combination with Methylated HOXA1 and SST Is Useful to Diagnose Stage i Pancreatic Cancer</p>	<p>Oncology (Switzerland) · 2022</p>	<p>Article</p>
94	<p>Harada K.; Ferdous T.; Fujiwara R.; Watanabe K.; Mizukami Y.; Mishima K.</p>	<p>Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate, School of Medicine, Japan; Center for Gene Research, Yamaguchi University, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan</p>	<p>An elemental diet protects mouse salivary glands from 5-fluorouracil-induced atrophy</p>	<p>Oncology Letters · 2022 Jun</p>	<p>Original Article</p>
95	<p>Takenawa T.; Harada K.; Ferdous T.; Kawasaki K.; Kuramitsu Y.; Mishima K.</p>	<p>Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, 755-8505, Japan; Cancer Preventive Institute, Health Sciences University of Hokkaido, Tobetsu-cho, 061-0293, Japan</p>	<p>Silencing of Tropomyosin 1 suppresses the proliferation, invasion and metastasis of oral squamous cell carcinoma in vitro</p>	<p>Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology · 2023 May</p>	<p>Article</p>
96	<p>Yagi T, Fujita M, Harada K, Shin M, Esaki Y, Ayata R, Koga Y, Kaneda K, Tsuruta R</p>	<p>Advanced Medical Emergency and Critical Care Center, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan; Emergency Center, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan; Department of Emergency Medicine, Iwakuni Clinical Center, Iwakuni, Japan; Acute and General Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Division of Respiratory Medicine, Department of Internal Medicine, Kokura Medical Center, Kitakyushu, Japan</p>	<p>Time Course of Coagulopathy Evaluated with Rotational Thromboelastometry in Patients with Severe Coronavirus disease 2019</p>	<p>Internal Medicine · 2023.Mar</p>	<p>Article</p>

97	Naoto Okada, Taro Shimizu, Hidenori Ando, Shingen Nakamura, Mitsuhiro Goda, Masahiro Abe, Takashi Kitahara, Tatsuhiko Ishida, Keisuke Ishizawa.	Department of Pharmacy, Tokushima University Hospital, Tokushima, Japan. Pharmacy Department, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan. Department of Pharmacokinetics and Biopharmaceutics, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School, Tokushima, Japan. Department of Community Medicine and Medical Science, Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences, Tokushima, Japan. Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics, Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences, Tokushima, Japan. Department of Haematology, Endocrinology, and Metabolism, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School, Tokushima, Japan. Clinical Pharmacology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan. Clinical Research Center for Developmental Therapeutics, Tokushima University Hospital, Tokushima, Japan.	Clinical Impact of Antipolyethylene Glycol (PEG) Antibody in Hematological Patients Administered PEGylated-Granulocyte Colony-Stimulating Factor	Clin Pharmacol Drug Dev · 2023 Jan	Original Article
98	Atsuyuki Saisyō, Michiya Yamaguchi, Koichi Kashibe, Haku Ishida, Yasushi Hirano, Tomoyuki Oka, Miho Tamura, Miwako Takasago, Yutaka Uchida, Kyoji Kouda, Takashi Kitahara	Pharmacy Department, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan. Department of Dermatology, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan. Medical Informatics and Decision Sciences, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan. Pharmacy Department, Ube-Kohsan Central Hospital, Yamaguchi, Japan.	Pharmacoeconomic study of biologics for psoriasis treatment based on real-world drug survival	Dermatol Ther · 2022 May	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	陳 冲, 中川 伸	山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座	The Exercise-Glucocorticoid Paradoxからみた運動と脳機能	日本生物学的精神医学会誌	

2	中川 伸	山口大学 大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座	【精神疾患診療】(第1部)精神疾患を理解するための基礎知識 ヒントとなる症状と鑑別診断のポイント 何をやるのもおっくうでやる気が出ない	日本医師会雑誌	
3	松原敏郎, 中川 伸	山口大学 大学院医学系研究科高次脳機能病態学(神経精神医学)	【精神科臨床ファイル】(第14章)総合病院精神科「患者が『死にたい』と言っています。すぐ精神科に転科させてください」一般病棟での希死念慮への対応相談	精神科治療学	
4	森景則保	山口大学器官病態外科学血管外科	ステントグラフト合併症の予防と治療(type IIエンドリーク)	日本血管外科学会雑誌	
5	沼 昌宏, 今釜 崇, 松木佑太, 川上武紘, 関 万成, 関 寿大, 坂井孝司	山口大学大学院整形外科学講座	人工股関節周囲感染に対してステムを温存し二期的再置換術を行った症例	中国四国整形外科学会雑誌	
6	油形公則, 藤井賢三, 瀬戸哲也, 上原和也, 坂井孝司	山口大学大学院整形外科学講座	保存的治療:リハビリテーション肩甲上腕関節外転角度増加をめざした肩関節外転装置の開発	別冊整形外科	
7	藤井賢三, 油形公則, 岩永隆太, 三原惇史, 瀬戸哲也, 坂井孝司	山口大学大学院整形外科学講座	Guyon管症候群(尺骨神経管症候群)尺骨神経管症候群の治療経験	別冊整形外科	
8	今釜 崇, 坂井孝司	山口大学大学院整形外科学講座	タイプ別臨床評価(2)カラーレスタイプ	日本におけるCORAIL®人工股関節の実際	
9	坂井孝司, 金岡文裕	山口大学大学院整形外科学講座	人工股関節全置換術後の日常生活動作とスポーツ活動	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	
10	岩永隆太, 三原惇史, 坂井孝司, 村松慶一, 伊原公一郎	山口大学大学院整形外科学講座、長門総合病院整形外科、関門医療センター整形外科	巨大悪性軟部腫瘍の治療成績	整形外科と災害外科	
11	杉本紘子, 上田 茜, 下村尚子, 野田健人, 佐伯一成, 濱田和希, 下村裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座;山口大学大学院医学系研究科第一内科;山口大学大学院医学系研究科呼吸器感染症内科	ペムプロリズマブ投与後に生じた皮膚障害の2例	西日本皮膚科	
12	下村 裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	皮膚症状からみる遺伝子解析	皮膚科	
13	下村裕, 伊藤泰介, 井坂圭孝, 西川厚嗣, 西川裕美子, 荒西利彦, 板倉仁枝, 大山学	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座;浜松医科大学皮膚科学講座;日本イーライリリー株式会社;杏林大学医学部皮膚科学講座	経口JAK阻害薬による円形脱毛症治療:パリンチニブの治療成績を中心に	西日本皮膚科	

14	柳井 亮二	山口大学医学部附属病院眼科	【基本から学ぶ】ぶどう膜炎診療のポイント】ぶどう膜炎の原因検索 全身検索	OCULISTA	
15	柳井 亮二	山口大学医学部附属病院眼科	【分子標的治療と眼】ぶどう膜炎分子標的治療のこれからの展開(解説)	あたらしい眼科	
16	堀 健志, 菅原一真, 竹本洋介, 津田潤子, 西村省吾, 橋本 誠, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	当科で経験した副甲状腺癌の2例	耳鼻咽喉科・頭頸部外	
17	菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	めまい 前下小脳動脈症候群/Wallenberg症候群(延髄外側症候群)	耳鼻咽喉科・頭頸部外	
18	菅原一真, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	急性感音難聴	JOHNS	
19	藤井博則, 御厨剛史	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学 古賀病院21耳鼻咽喉科	上顎洞血瘤腫	ENTONI	
20	藤井博則, 御厨剛史	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学 山口大学大学院医学系研究科分子病理学+D7	副鼻腔治療の変遷 手術療法	JOHNS	
21	沖中洋介, 菅原一真, 藤井博則, 橋本 誠, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	肝移植前に内視鏡下鼻内手術を行い上顎洞内よりスエヒロタケが検出された症例	耳鼻咽喉科・頭頸部外	
22	沖中洋介, 菅原一真, 藤井博則, 橋本 誠, 木村相泰, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学 山口大学大学院医学系研究科分子病理学	浸潤型真菌症や悪性腫瘍との鑑別を要した上顎洞原発多発血管炎性肉芽腫症症例	耳鼻咽喉科・頭頸部外	
23	Takafumi M., Kazuma S., Yohei Y., Junko T., Makoto H., Hiroshi Y.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine	Prevention of progressive hearing loss in a mouse model of diabetes by oral intake of eicosapentaenoic acid ethyl ester	Acta Oto-Laryngologica	

24	松尾綾芳、原田英宜、森亜希、山縣裕史、松本美志也	山口大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	腰椎椎間板ヘルニアに伴う両下肢痛に対して硬膜外癒着剥離神経形成術を両側に施行し長期効果を得られた一症例	ペインクリニック	
25	松尾綾芳、原田英宜、山縣裕史、川並俊介、松本美志也	山口大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	腰椎変性側弯症に伴う腰下肢痛の治療中に Pericapsular nerve group (PENG) ブロックにより変形性股関節症由来の疼痛を診断した1症例	日本臨床麻酔学会誌	
26	Hirokazu Sadahiro, Kazutaka Sugimoto, Fumiaki Oka, Mototsugu Shimokawa, Hideyuki Ishihara	Department of Neurosurgery and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University School of Medicine; Department of Biostatistics, Yamaguchi University School of Medicine	Peak systolic velocity of carotid artery disease could reflect the pathophysiology of atherothrombotic brain infarction	Neurosonology	
27	三島克章	山口大学大学院歯科口腔外科学講座	境界要素法を用いた音響シミュレーションによる口蓋裂言語障害の病態解明	サウンド	
28	有馬秀樹、越智文也、幸田恭治、北原隆志	山口大学医学部附属病院薬剤部	モノクローナル抗体製剤における治験時除外基準と市販時禁忌項目の相違点の実態調査	医薬品情報学	
29	西澤庸介、石村光、岡野智史、尾崎正和、幸田恭治、北原隆志	山口大学医学部附属病院薬剤部	がんおよびがん治療による神経障害性疼痛に対するデュロキセチンの効果発現時期の検討	日本緩和医療薬学雑誌	

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 目的・適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、（旧：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針）に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年13回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年14回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法・治験について、申請手続きについて、IRB審査について、人医学系研究に係る利益相反について 等	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャリティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	55人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
高見 太郎	第一内科	科長	24年	内科
岡村 誉之	第二内科	副科長	32年	内科
太田 康晴	第三内科	科長	29年	内科
中森 雅之	脳神経内科	科長	25年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	32年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	32年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	24年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	33年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	37年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	37年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	29年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	38年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	28年	眼科
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	38年	耳鼻咽喉科
白石 晃司	泌尿器科	科長	28年	泌尿器科
石原 秀行	脳神経外科	科長	31年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	35年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	17年	放射線科
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	38年	麻酔科
池田 栄二	病理形態学	教授	37年	病理
山崎 隆弘	検査部	部長	36年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	32年	救急科
野垣 宏	地域・老年看護学	教授	41年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	38年	総合診療
高須 啓之	形成外科	科長	17年	形成外科
三島 克章	歯科口腔外科	科長	33年	歯科口腔外科

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

<院内> 【検査部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2022年4月1日	2
新採用者研修・オリエンテーション	2022年11月1日	1
検査部・輸血部・病理診断科 ISO15189 講習会	2023年2月15日	41
LIS 講習会	2023年3月8日	31

<院外>

学会・研修会名	開催日	人数
POEMS syndrome Seminar in 山口	2022年4月11日	2
第12回検査血液 Zoom 同好会	2022年4月14日	4
第2回心エコーお花見フェス「心電図と心エコー図のマリアージュ」	2022年4月17日	3
Interactive WEB in 中国四国 MRD陰性を目指した多発性骨髄腫の治療戦略を考える	2022年4月19日	6
脳の小部屋 PCNSL 治療最前線「PCNSL の治療における自家移植の役割」	2022年4月21日	4
アークレイ臨床検査セミナー2022 大阪	2022年4月22日	2
第12回山口県リンパ腫カンファレンス	2022年4月23日	5
尿検査フォーラム 2022 Spring	2022年4月24日	2
日本血液同好会(第417回)	2022年5月11日	5
第13回検査血液 Zoom 同好会	2022年5月12日	5
ライサス勉強会	2022年5月13日	5
がん関連血栓症	2022年5月17日	4
Interactive Lecture for Young Hematologist Web Seminar in Osaka	2022年5月19日	5
徳臨技 心エコー症例検討会(第1回)	2022年5月23日	2
血液の小部屋 WM/LPL を考える	2022年5月26日	2
微生物検査セミナー'EIKEN' in 中四国 第1回	2022年5月26日	4
第3回山口県がんゲノム医療研究会	2022年5月27日	4
第2回臨床一般セミナー	2022年5月28日	3
第44回シスメックス学術セミナー	2022年6月4日	4
第14回検査血液 Zoom 同好会	2022年6月9日	5
微生物検査セミナー'EIKEN' in 中四国 第2回	2022年6月9日	4
徳臨技 心エコー症例検討会(第2回)	2022年6月9日	2
第1回 みなとみらいフォーラム 2022	2022年6月10日	3
Radiometer LIVE BG Seminar 2022	2022年6月11日	2
VTEにおける抗凝固療法	2022年6月14日	2
微生物検査セミナー'EIKEN' in 中四国 第3回	2022年6月23日	5
第2回 みなとみらいフォーラム 2022	2022年6月24日	2
CML治療の最先端～日常診療への応用～	2022年6月30日	4
第3回 みなとみらいフォーラム 2022	2022年7月8日	3

徳臨技 心エコー症例検討会(第3回)	2022年7月14日	3
アボットジャパン Web セミナー:COVID-19 時代におけるプロカルシトニン測定の有用性	2022年7月15日	2
先天性 TTP 公開講演会	2022年7月17日	3
シスメックス Hemostasis Seminar LIVE	2022年7月20日	3
Team Medicine Seminar ~CAT の診療体制を考える~	2022年7月21日	2
アルブミン Web 講演会「アルブミン製剤の適正使用と国内自給の推進	2022年7月27日	2
USC 研究会 2022	2022年7月30日	2
令和4年度認定一般検査技師育成研修会(尿検査編)	2022年8月1日	2
輸血シンポジウム 2022in 九州	2022年8月6日	2
徳臨技 心エコー症例検討会(第4回)	2022年8月11日	3
第15回検査血液 Zoom 同好会	2022年8月18日	6
第10回止血異常懇話会	2022年8月20日	3
山口県臨床検査技師会臨床一般部門研修会	2022年8月21日	3
シスメックスセミナー2022 in 北関東	2022年8月24日	5
令和4年度認定一般検査技師育成研修会(その他の材料編)	2022年9月1日	2
今さら聞けない先天性アンチトロンビン欠乏症のあれこれ	2022年9月2日	5
第5回山陰地区検査血液研究会	2022年9月3日	4
第31回信大臨床検査セミナー	2022年9月4日	2
セラビジョン Web セミナー	2022年9月7日	6
感染症セミナー2022	2022年9月8日	3
徳臨技 心エコー症例検討会(第5回)	2022年9月8日	2
第8回中四国糖尿病スキルアップセミナー	2022年9月11日	2
令和4年度がんの全ゲノム解析に関する人材育成事業	2022年9月12日	2
日本血液同好会(第419回)	2022年9月14日	2
第7回オンライン・「SEKISUI 塾」	2022年9月14日	2
アコアラン/ノイアート Web 講演会	2022年9月16日	2
Fight in SHIKOKU CHUGOKU	2022年9月17日	3
シスメックスユリナリスセミナー2022Vol.1	2022年9月17日	2
シスメックスヘマトロジーセミナー~血液像検査の将来~	2022年9月21日	5
2022 関西エキスパートウェブセミナー	2022年9月22日	5
山口県臨床検査技師会臨床血液部門研修会	2022年9月25日	6
シスメックス Hemostasis Seminar LIVE	2022年9月29日	3
第68回山口県医学検査学会	2022年10月1日	16
第9回関西 POT キット研究会 第4回九州 POT キットセミナー	2022年10月1日	2
シスメックス Urinalysis セミナー2022	2022年10月5日	3
VTE forum 2022	2022年10月11日	2
徳臨技 心エコー症例検討会(第6回)	2022年10月13日	3
山口県臨床検査技師会臨床生理部門 web 研修会	2022年10月15日	6
ゼロから始める神経伝導検査—手根管症候群編—	2022年10月19日	3
シスメックス Hemostasis Seminar LIVE	2022年10月21日	3
山口県アイシング錠発売5周年記念講演会「第三世代 TKI ポナチニブの有用性」	2022年10月25日	4
山口県臨床検査技師会宇部支部 Web 研修会	2022年10月28日	6
YamaguchiHematologyWebMeeting	2022年11月1日	3
徳臨技主催第7回心エコー症例検討会	2022年11月10日	3
第17回検査血液 Zoom 同好会	2022年11月10日	6
第1回テムセル®HS 注 WEB 講演会	2022年11月11日	2
ユリナリスセミナーin 徳島 2022	2022年11月12日	3

プレゼンスキルの極意 ARISTOLE 試験で実践	2022年11月15日	4
ForxigaTVSymposium2022	2022年11月16日	2
造血幹細胞移植推進地域拠点病院ベーシック Web セミナー	2022年11月19日	2
徳臨技主催心エコー症例検討会	2022年11月22日	2
山口県血液疾患懇話会	2022年11月25日	2
シスメックスユリナリスセミナー2022Vol.2	2022年11月27日	4
山口県臨床検査技師会生物化学分析部門 WEB 研修会	2022年12月4日	5
ヘモスタシスセミナー2022 Vol.2	2022年12月6日	5
第17回検査血液 Zoom 同好会	2022年12月8日	6
全身性神経障害のケーススタディ	2022年12月8日	4
徳臨技主催心エコー症例検討会	2022年12月8日	2
第16回全国国立大学臨床検査技師会中国四国地区研修会	2022年12月10日	18
令和4年度肝疾患研修会	2022年12月13日	2
令和4年度臨床一般部門中四国支部研修会	2022年12月17日	2
山口県臨床検査技師会臨床検査総合部門 Web 研修会	2022年12月17日	2
山口県臨床検査技師会神経生理部門 Web 研修会	2022年12月18日	4
Wako Web セミナー(第1回)	2023年1月2日	3
中部圏支部臨床一般部門研修会	2023年1月7日	2
BD シナプシス感染症検査統合システム研修会	2023年1月11日	5
第19回検査血液 Zoom 同好会	2023年1月12日	6
徳臨技主催第9回心エコー症例検討会	2023年1月12日	4
日本血液同好会(第421回)	2023年1月18日	2
ヘムライブラ適正使用を考える会～後天性血友病の新しい治療戦略～	2023年1月19日	5
山口県臨床検査技師会宇部支部 Web 研修会	2023年1月20日	7
山口消化器癌セミナー	2023年1月23日	8
Forxiga Premium Web Seminar	2023年1月23日	3
シスメックスヘモスタシスセミナー2022Vol.3 凝固波形解析の新たな知見	2023年1月26日	4
Wako Web セミナー(第2回)	2023年2月1日	2
第19回合同地方会	2023年2月5日	2
山口県臨床検査技師会臨床一般部門研修会	2023年2月5日	2
徳臨技主催 第10回心エコー症例検討会	2023年2月9日	2
第20回検査血液 Zoom 同好会	2023年2月9日	5
第2回膵臓 US エキスパート養成セミナー	2023年2月10日	3
山口県臨床検査技師会 染色体・遺伝子部門研修会	2023年2月11日	3
シスメックスヘモスタシスセミナー2022Vol.4 FMCを活用した術後DVTスクリーニング	2023年2月17日	2
シスメックスヘマトロジーセミナー 形態診断の秘策	2023年2月18日	3
山口県臨床検査技師会臨床生理部門 Web 研修会	2023年2月18日	5
シスメックスユリナリスセミナー2022 Vol.3	2023年2月18日	2
山口県臨床検査技師会臨床血液部門研修会	2023年2月26日	6
血圧脈波検査-検査結果の見方とガイドライン改訂について-	2023年3月3日	2
山口県臨床検査技師会宇部支部 Web 研修会	2023年3月3日	5
第4回ニッスイ近畿感染症セミナー	2023年3月4日	2
第12回広島 US ミーティング	2023年3月4日	4
第21回検査血液 Zoom 同好会	2023年3月9日	3
第9回 GC 研究会	2023年3月11日	2

【薬剤部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新人教育研修(病院薬剤師の役割、薬剤部の構成、オリエンテーション)	2022/4/1	6
新人教育研修(薬剤部紹介)	2022/4/1	6
新人教育研修(講義:調剤)	2022/4/4、5、6、7	6
新人教育研修(講義:注射調剤)	2022/4/8、11、12、13	6
新人教育研修(講義:医療安全)	2022/4/14	6
新人教育研修(講義:情報セキュリティ)	2022/4/15	6
新人教育研修(講義:薬務)	2022/4/18	6
新人教育研修(講義:麻薬・薬品管理)	2022/6/28	6
新人教育研修(講義:治験)	2022/6/29	6
新人教育研修(講義:DI)	2022/6/30	6
新人教育研修(講義:製剤)	2022/7/1	6
薬物治療勉強会(免疫疾患)	2022/6/9	15
薬物治療勉強会(呼吸器疾患)	2022/10/18	12
薬物治療勉強会(腎・泌尿器疾患)	2022/10/25	13
薬物治療勉強会(感覚器疾患)	2022/11/15	10

【放射線部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
第2回 CT motion webinar	2022/4/2	9
第77回日本放射線技術学会総会学術大会	2022/4/14~4/17	4
山口県腹部画像診断フォーラム	2022/4/22	7
GE の MRI の最新情報	2022/4/25	5
GE ヘルケアファーマーによる MRI の造影剤の説明会	2022/4/26	6
山口県放射線技師会総会	2022/5/15	8
第2回 ViPS ~Vitrea Perfusion Seminar~	2022/5/25	10
バイエル画像診断WEBカンファレンス知って得するMRIの最新情報	2022/5/25	1
ゲルベジヤパン WEBセミナー画像診断とAI	2022/5/26	1
Eisai Dementia Live Seminar	2022/5/27	2
イオプロミド注「BYL」Webカンファレンス	2022/5/30	2
「造影理論と最新造影剤低減技術」「フォトンカウンティングCTの基礎知識」	2022/5/30	3
第29回徳島県放射線治療研究会	2022/6/4	5
GEヘルスケアファーマ × 根本杏林堂 造影検査ステップアップセミナー	2022/6/8	4
第10回MRI循環器撮影研究会	2022/6/17	5
第16回 山口 CT UPDATE seminar	2022/6/18	6
第150回放射線治療かたろう会	2022/6/25	6
山口 Magnetom 研究会	2022/6/25	7
造影剤ウェビナー説明会 ヨード・ガドリニウム造影剤の急性副作用とその対策	2022/6/27	2
第13回 Cutting edge radiology in Yamaguchi	2022/7/1	9
第23回夏季学術大会中国・四国支部	2022/7/2	9
第45回岡山MRI撮像技術研究会	2022/7/9	1

2022 放射線診療フォーラム inKyushu	2022/7/15	1
第 19 回 広島国際フォーラム	2022/7/21	2
山口県放射線技師会夏期講習会	2022/7/24	9
Global Standard CT Symposium 2022 Web Live Seminar	2022/8/6	2
AIR TM Roadshow ~Next Stage in 中日本	2022/8/25	3
山口 MR 撮像技術研究会	2022/8/27	4
第 22 回 瀬戸内 CT サイエンスセミナー	2022/9/1	1
山口乳腺画像研究会	2022/9/3	6
第 151 回放射線治療かたろう会	2022/9/10	4
第 41 回 山口県放射線治療研究会	2022/9/10	10
第 14 回 CuttingEdgeRadiology in Yamaguchi	2022/9/16	9
第 38 回 日本診療放射線技師学術大会	2022/9/16~ 9/18	3
第 21 回 山口県認知症研究会	2022/9/22	2
第 50 回 日本放射線技術学会秋季学術大会	2022/10/7~10/9	3
第 18 回 中四国放射線医療技術フォーラム (CSFRT2022 in 愛媛)	2022/10/15~ 10/16	12
Philips Neuro Suite Users Summit 2022	2022/10/23	1
第 38 回かしわ画像研究会	2022/11/11	1
臨床に役立つ乳房領域の画像診断~標準化と最新技術~	2022/11/16	8
山口県放射線技師会秋季講習会	2022/11/20	7
キャノン CT・MR セミナー	2022/11/29	9
第 152 回放射線治療かたろう会	2023/12/3	5
山口核医学学術講演会	2022/12/8	2
造影剤ウェビナー説明会 ヨード・ガドリニウム造影剤の急性副作用とその対策	2022/12/14	3
肝臓領域ダイナミック CT での至適造影法	2022/12/15	4
第 15 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2022/12/16	10
山口脳腫瘍カンファレンス	2022/12/16	3
シーメンス RSNA flash seminar	2022/12/20	3
根本塾	2023/1/14	2
ヨード・ガドリニウム造影剤の急性副作用とその対策	2023/1/25	2
肝臓領域ダイナミック CT での至適造影法	2023/1/26	1
山口 Magnetom 研究会	2023/1/28	7
第 20 回 Multi Modality Forum Zoom Webinar	2023/1/28	1
やまぐち維新 CT Conference	2023/2/4	4
第 5 回学術サミット研修会	2023/2/4	3
山口 MR 撮像技術研究会	2023/2/18	4
Advanced Imaging Seminar 2023	2023/2/25	2
山陰 MR セミナー2023	2023/2/25	1
第 16 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2023/3/3	12
第 46 回岡山 MRI 撮像技術研究会	2023/3/4	2
バイエル Web カンファレンス	2023/3/8	4
山口脳腫瘍カンファレンスセミナー	2023/3/10	4
第 42 回山口県放射線治療研究会	2023/3/11	9
第 153 回放射線治療かたろう会	2023/3/18	3
宇部小野田地域講習会	2023/3/22	11
シーメンス オンラインセミナー	2023/3/25	5
ゲルベ Web セミナー Gd 造影剤使用のリスクマネジメント	2023/3/29	4

合同 MRI 勉強会	2022/6/10	1
第 23 回法医画像勉強会	2023/3/11	1

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【看護部／対象：新人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2022/4/1.4、5	74
技術演習① 感染対策	2022/4/9	68
技術演習② 体位変換・移送・移乗	2022/4/9	68
新人サポート研修 コミュニケーション I	2022/4/9	68
電子カルテシステム	2022/4/8、11	72
褥瘡予防ケア	2022/4/13	74
医療安全に関する研修 I リスクマネジメントマニュアルを知ろう	2022/4/15	74
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2022/4/19	74
静脈注射 知識編 I、「静脈注射の基礎知識」	2022/4/20	74
技術演習③ 輸液管理	2022/4/23	68
技術演習④ 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	2022/4/23	68
新人サポート研修 社会人基礎力	2022/4/23	68
看護記録 I ～看護記録の基礎～	2022/4/27(e ラーニング)	71
酸素吸入療法	2022/5/10	65
メンタルヘルス I	2022/5/10	65
技術演習⑤ 静脈血採血	2022/5/21	68
技術演習⑥ 皮下注射・筋肉内注射	2022/5/21	68
メンタルヘルス II	2022/5/21	68
静脈注射 知識編 II ①「インスリンの知識と管理」	2022/6/4	68
技術演習⑦ 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理・洗腸	2022/6/4	68
技術演習⑧ 吸引・吸入	2022/6/4	68
2か月目のふりかえり	2022/6/10	73
医材センター研修	2022/6/18	71
技術演習⑨ 経管栄養管理	2022/6/18	67
技術演習⑩ 多重課題シミュレーション I	2022/6/18	67
技術演習⑪ フィジカルアセスメント I	2022/6/29	67
技術演習⑫ 急変対応を学ぶ	2022/7/15	66
防火訓練	2022/7/26	67
看護必要度研修(新人編)	2022/7/26	69
技術演習⑬ 静脈留置針の挿入	2022/8/3	61
技術演習⑭ 心電図モニター・12誘導	2022/8/31	63
静脈注射 知識編 II ② 「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」「ハイリスク注射薬の知識と管理」	2022/9/6、9	66
静脈注射 知識編 III、「抗がん剤の知識と管理」	2022/10/5、19	63
静脈注射 知識編 IV、「輸血の知識と管理」	2022/10/5、19	63
6か月目のふりかえり	2022/10/14	61
看護に必要な倫理	2022/11/1、4	65
看取りの看護 ～逝去時の看護手順～	2022/11/22	65

フォローアップ研修	2022/12/8、9	90
医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT	2023/1/18	62
人工呼吸器の基礎知識	2023/2/10	62
1年の振り返り	2023/3/2	66

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
静脈注射 知識編Ⅴ 静脈注射にまつわるインシデント CV ポートの知識と管理	2022/6/1 eラーニング(6/25、29、7/4)	66
フィジカルアセスメントⅡ ～変化を予測した情報収集のためのイグザミネーション～	2022/7/29、8/8	63
看護記録Ⅱ ～看護過程と看護記録～	2022/12/5 eラーニング(2023/1/13)	64
チームワークで問題解決	2023/1/13、27	63
フィジカルアセスメントⅢ ～状態に気づくためのアセスメント～	2022/8/1、12/27	56
倫理的であたかな対応ってどうしたらいいの？	2022/11/18、12/1	60
3年目リフレクション ～看護実践を内省する～	2023/2/3、17	59
4年目リフレクション(2021年度未開催分)	2022/7/7、11/14	51
プリセプター研修①(2022年度)(2021年度未開催分)	2022/4/19	48
プリセプター研修②	2022/7/4	45
プリセプター研修③	2023/2/2	41
プリセプター研修④(2023年度)	2023/3/6、17	49
これからの退院支援 (基礎編)	2022/6/20～7/4(eラーニング)	100
アサーティブコミュニケーション	2022/12/21	23
クリティカル院内研修	1/24～1/27 2/7～10 2/14～17	17

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
リーダーシップ研修	2022/9/30	24

【看護部／対象：ラダーⅢ・Ⅳを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
ケアに気づきたい！摂食嚥下障害	2022/7/1	18
これからの退院支援 (実践編)	2022/8/4	17
倫理的問題は何なのか？言葉にしてみよう①	2022/8/29～10/14(eラーニング)	22
倫理的問題は何なのか？言葉にしてみよう②	2022/10/31	26
倫理的問題は何なのか？言葉にしてみよう③	2023/1/20	25
看護研究① 研究テーマの決め方 文献検索の方法	2022/6/7～21(eラーニング)	11
看護研究② クリティーク	2022/7/7～21(eラーニング)	20
看護研究③ 研究方法	2022/8/22～9/5(eラーニング)	15
看護研究④ 研究計画書の作成方法 倫理審査	2022/9/28～10/12(eラーニング)	18
看護研究⑤ 抄録の作り方 スライド作成 プレゼンテーション	2022/11/25～12/9(eラーニング)	14
臨床の知 ～ナラティブで看護を振り返る～	2022/12/2	15

看護記録Ⅲ ～看護実践のまとめ方～	2022/5/31	23
-------------------	-----------	----

【看護部／対象：ラダーⅣ・Ⅴを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
現場で活かせるファシリテーションスキル	2022/6/6	19
人を育てるとは	2022/11/7	24
看護倫理カンファレンス開催のコツ	2022/12/16	20
院内看護管理入門① 組織管理論Ⅰ	2022/5/18	15
院内看護管理入門② ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論、保健医療福祉サービス提供体制	2022/6/15	15
院内看護管理入門③ ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割	2022/7/20	15
院内看護管理入門④ 【公開講座】人材管理Ⅰ 看護チームマネジメント	2022/10/31	43
院内看護管理入門⑤ 人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識	2022/9/21	15
院内看護管理入門⑥ 【公開講座】人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	2022/8/17	37
院内看護管理入門⑦ 質管理Ⅰ	2023/02/02	13
院内看護管理入門⑧ 資源管理Ⅰ	2022/11/16	14
高齢者看護に必要なフィジカルアセスメントとケア	2022/10/6	17

【看護部／対象：全看護師】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
本人の意思と価値を尊重した人生会議のあり方 (アドバンス・ケア・プランニング)	2022/12/23 会場 12/28～1/13((eラーニング))	6+152
認知症を持つ人の理解と関わり方	2022/10/21	89
報告会	2023/2/8	80
第96回 院内看護研究発表会・活動報告会	2023/2/25	162
院内 ICLS 研修	2022/5/12	8
院内 ICLS 研修	2022/6/7	10
院内 ICLS 研修	2022/7/7	9
院内 ICLS 研修	2022/8/9	7
院内 ICLS 研修	2022/9/15 中止(コロナ感染関連)	
院内 ICLS 研修	2022/10/25	9
院内 ICLS 研修	2022/11/17	6
院内 ICLS 研修	2022/12/6	8
院内 ICLS 研修	2023/1/12	8
院内 ICLS 研修	2023/2/9	9
院内 ICLS 研修	2023/3/9	9
CV ポート技術演習	2022/7/27 2023/1/11	27+28
CV ポート指導看護師技術演習	2022/8/5、2023/1/25	1
アドバンストナースミニレクチャー①	2022/6/6	51
アドバンストナースミニレクチャー②	2022/8/1	52
アドバンストナースミニレクチャー③	2022/10/3	34
アドバンストナースミニレクチャー④	2023/2/6	44
院内認定がん看護公開学習会①	2023/2/24	23

【看護部／対象：臨床経験年数5年以上】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
院内認定看護師(クリティカル)コース	2022/7月～3月(～6月)	4
院内認定看護師(がん看護)コース	2022/7月～3月(～6月)	3

【看護部／対象：管理者】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護管理研修(看護師長) 労務管理 e-ラーニング	6月～7月	34
看護師長研修 令和4年度事務系職員等人事評価制度評価者研修	4月～7月	31
副看護師長研修 看護現場学:エキスパートナースは現場で育つ	2022/9/22	75
看護師長研修 看護職の心のケア	2022/11/09	30
看護師長・副看護師長研修(ナースィングスキル)管理者に求められる倫理的なリーダーシップ	5月～6月	94
部署発表会 目標に対する活動報告	2023/3/10	95
昇任管理者研修・オリエンテーション	2023/3/7	16

【看護部／対象：その他】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護必要度研修	2022/8/29 9/8、15、21 10/6	737
褥瘡予防と褥瘡発生後のケア	2022/5/12、24、30 6/8、10 8/22、25 9/5	752
看護職員と看護補助者の協働(一般看護職員向け)	2022/11/15、17、28、29、 12/2、15、19	790

【看護部／対象：看護補助者】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
補助者研修① 医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 看護補助者の役割	2022/4/18	75
補助者研修② 感染防止対策 ～PPEと環境整備について学ぶ～	2022/5/30	74
補助者研修③ 医療安全	2022/7/5	75
技術演習(助手)	2022/10/21	51
補助者研修④ 一次救命処置	2022/11/16	81
振り返り	2023/2/15	76

② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

【放射線部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
令和4年度 短期研修 医療放射線の適正管理に関する研修	2022/10/31～11/2	1
令和4年度 山口県原子力災害医療基礎研修	2023/03/16	1

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 松永 和人	
管理担当者氏名	総務課長 足立 正博 医事課長 濱本 伸一	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医学部総務課	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月までに作成されたカルテは紙媒体で、それ以降に作成されたカルテは電子媒体で保管している。 診療録の病院外持ち出しは、原則禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部 各診療科	
		手術記録	診療録センター 医療情報部	
		看護記録	診療録センター 医療情報部	
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部	
		エックス線写真	各診療科 放射線部	
		紹介状	診療録センター 医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第三項	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営企画課	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課 薬剤部	
掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部管理運営課経理・調達係	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部
		監査委員会の設置状況	医学部総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務企画部総務課
		職員研修の実施状況	医学部総務課 医療の質・安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課
管理者が有する権限に関する状況	医学部総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医学部総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医学部総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 松永 和人
閲覧担当者氏名	総務課長 足立 正博 医事課長 濱本 伸一
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館2階 事務室 外来診療棟1階 医事課患者相談室
閲覧の手続の概要 ・閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・提出先 病院長 ・閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ・ 本院における安全管理に関する基本的考え方について ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、副病院長（医療の質・安全担当）を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置するとともに、医療の質・安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品、医療機器及び診療用放射線の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」及び「医療放射線安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネジャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療の質管理及び改善に関すること。 	

- (2) 医療事故防止に関すること。
 - (3) 医療訴訟の対策に関すること。
 - (4) 院内死亡事例に関すること。
2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。
3. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2回

- ・ 研修の内容（すべて）：

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2022/8/26	全職員	「本院の医療安全体制および外部監査結果報告」 「医療安全文化調査の結果報告」	医師 GRM 医師 GRM 薬剤師 GRM	1864 人 (eラーニング、DVD貸し出しを含む)
2023/1/23	全職員	「行動経済学観点から QI 活動に」	学外講師	1843 人 (対面講習、eラーニング、DVD貸し出しを含む)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
(インシデント・アクシデント報告の分析・検討)
 - ・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など9の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。
 - ・ オカレンス報告を増やすため、報告様式を簡素化し、手術時のサインアウトにオカレンスの有無についてのチェック項目を追加した。
 - ・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。

(院内死亡事例報告の検証)

- ・ 診療科は医療の質・安全管理部へ速やかに死亡事例の報告をし、医療の質・安全管理部でも毎日死亡事例を抽出し、速やかにスクリーニングを行う。情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針 																
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防対策の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 病院内の感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること 																
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： 																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">研修内容</th> <th style="width: 15%;">研修日</th> <th style="width: 10%;">対象者</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院における感染対策について 薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用支援（AS）活動について</td> <td>Web 受講のみ 2022/5/16～ 2022/6/17 DVD 講習 2023/5/16～ 2023/6/17</td> <td>全職員</td> <td>感染制御部 末竹 諒 河口 義隆</td> <td>2,225 人</td> </tr> <tr> <td>COVID-19から学ぶ感染対策とアウトブレイクへの対応</td> <td>2023/1/16 Web 講習 2023/1/23～ 2023/2/10 DVD 講習 2023/1/23～ 2023/2/10</td> <td>全職員</td> <td>感染制御部長 松永 和人</td> <td>2,084 人</td> </tr> </tbody> </table>		研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数	当院における感染対策について 薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用支援（AS）活動について	Web 受講のみ 2022/5/16～ 2022/6/17 DVD 講習 2023/5/16～ 2023/6/17	全職員	感染制御部 末竹 諒 河口 義隆	2,225 人	COVID-19から学ぶ感染対策とアウトブレイクへの対応	2023/1/16 Web 講習 2023/1/23～ 2023/2/10 DVD 講習 2023/1/23～ 2023/2/10	全職員	感染制御部長 松永 和人	2,084 人
研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数												
当院における感染対策について 薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用支援（AS）活動について	Web 受講のみ 2022/5/16～ 2022/6/17 DVD 講習 2023/5/16～ 2023/6/17	全職員	感染制御部 末竹 諒 河口 義隆	2,225 人												
COVID-19から学ぶ感染対策とアウトブレイクへの対応	2023/1/16 Web 講習 2023/1/23～ 2023/2/10 DVD 講習 2023/1/23～ 2023/2/10	全職員	感染制御部長 松永 和人	2,084 人												
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況																
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。 ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。 																

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況				有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況				年 30回
・ 研修の主な内容：				
研修日	対象者	研修内容	講師	参加者
2022.4.1	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の利用について	副薬剤部長	106名
2022.4.19	新採用看護師	内服薬・貼付薬・外用薬の知識	薬剤主査	74名
2022.4.20	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤主査	74名
2022.5.16～6.17	全職員	当院における抗菌薬適正使用支援(AS)について	AST 専従薬剤師	2225名
2022.5.18	A8 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	10名
2022.5.27	A12 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	10名
2022.6.10	B6 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16名
2022.6.21	検査診療部 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	薬剤主査	8名
2022.7.7	A6,MFICU	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	20名
2022.7.1～8.31	新採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	67名
2022.7.14	B5 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	22名
2022.7.21	B4 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	13名
2022.7.28	A1 看護師	麻薬・覚醒剤原料講習会・鎮静筋弛緩薬講習会	病棟担当薬剤師	66名
2022.8.27～	全職員	医薬品の安全管理について	薬剤師 GRM	1916名
2022.9.6	新採用看護師	「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」	薬剤主査	66名
2022.9.6	新採用看護師	「ハイリスク注射薬の知識と管理」	副薬剤部長	66名
2022.9.9	A10 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取り扱いについて	病棟担当薬剤師	17名
2022.10.13	研修医	医薬品使用時の安全管理	副薬剤部長	12名
2022.10.20	B-9 看護師	心不全の薬について	病棟担当薬剤師	20名
2022.10.20	A-7 病棟看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	薬剤主査	10名
2022.10.31	A9 病棟看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16名
2022.11.15	外来棟看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	薬剤主査	35名
2022.12.13	B7 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	9名
2022.12.15	A11 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	6名
2022.12.16	B3 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	11名
2022.12.20	NICU,GCU	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	27名
2023.1.10	A3 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	46名
2023.1.20	B10 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	18名

2023.1.27	地域薬剤師、がん治療に関わる職員	R4 年度がん化学療法と地域連携に係る研修会	がん化学療法担当薬剤師	63 名
2023.2.16	B9 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	14 名

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (・無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
 - 1) 医薬品の採用に関する事項
 - 2) 医薬品の購入・管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理)
 - 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項
 - 4) 患者に対する服薬指導に関する事項
 - 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い
 - 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理
 - 7) 他施設 (病院、薬局等) との連携に関する事項
 - 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い
 - 9) 薬剤投与のための機器使用
 - 10) 放射線医薬品の管理
 - 11) 臨床検査薬の管理
 - 12) 造影剤の管理、使用
 - 13) 院内製剤の取扱いについて
 - 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
 - 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (・無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：

0.05%ピオクタニン (メチルロザニリン) 液：大腸腫瘍、小腸腫瘍、十二指腸潰瘍における癌・非癌の鑑別およびその深達度の精査目的
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
 - (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
 - (3) 薬剤部より月 1 回「DI EXPRESS」を発行している。
 - (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。
 - (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (6) 転倒転落防止のための不眠時指示のフローチャートを作成し、全病棟の配置薬を該当の薬剤に統一している。
 - (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
 - (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
 - (10) 注射調剤時には、原則バーコードリーダー照合により、処方薬の正しい交付を確認している。
 - (11) 抗がん剤調製は必要に応じて重量鑑査システムを使用し、誤調製を防止している。
 - (12) 内服・外用調剤監査時に必要に応じて画像鑑査システムを使用し誤調剤を防止している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																																																																																																		
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年50回																																																																																																																																		
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 新しい医療機器導入時の研修</p>																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>機種名</th> <th>導入診療科 (部)名</th> <th>開催日</th> <th>受講者 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動視野計</td> <td>HFA850</td> <td>眼科</td> <td>令和4年6月28日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>白内障・硝子体手術装置</td> <td>DORC EVE</td> <td>手術部</td> <td>令和4年4月11日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>酸素供給用経鼻カニューレ</td> <td>NHF retrieve</td> <td>手術部</td> <td>令和4年5月18日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>振動式末梢血管貫通用カテーテルシステム</td> <td>CROSSER</td> <td>第二内科 心臓カテーテル室</td> <td>令和4年6月1日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>人工心肺装置</td> <td>APS-1</td> <td>手術部</td> <td>令和4年7月12日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>観血血圧モニター</td> <td>オプトモニター</td> <td>第二内科 心臓カテーテル室</td> <td>令和4年8月24日</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>観血血圧モニター</td> <td>AVVIGO guidance system II</td> <td>第二内科 心臓カテーテル室</td> <td>令和4年9月6日</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>ウェーブフロントアナライザー</td> <td>KR-1W</td> <td>眼科</td> <td>令和4年10月4日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ロックアーム</td> <td>F-X-BJ</td> <td>手術部</td> <td>令和4年10月14日</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>超音波画像診断装置 UBMプローブ</td> <td>UD-8000 UD-8060</td> <td>眼科</td> <td>令和4年11月22日</td> <td>7 7</td> </tr> <tr> <td>MIMAPRO マイクロ波アブレーションシステム</td> <td>MTC-3C</td> <td>第一内科</td> <td>令和4年11月22日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>手術支援ロボット</td> <td>iArmS</td> <td>耳鼻咽喉科</td> <td>令和4年12月13日</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>超音波画像診断装置</td> <td>LOGIQ P10</td> <td>ICU</td> <td>令和4年12月15日</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>エルベ</td> <td>CRY02</td> <td>呼吸器感染症内科</td> <td>令和4年12月13日</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>移動型X線装置</td> <td>AeroDR TX m01</td> <td>AMEC</td> <td>令和4年11月29日 ～ 令和4年12月1日</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>軟性膀胱鏡</td> <td>Ambu aScope 4 Cysto</td> <td>泌尿器科</td> <td>令和5年2月17日</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>血液ガス分析装置</td> <td>ラピッド ポイント 500e</td> <td>第二内科 心臓カテーテル室</td> <td>令和5年3月7日</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>放射線治療機器</td> <td>Radixact</td> <td>放射線部</td> <td>令和5年3月25日 ～令和5年3月26日</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>微生物同定感受性測定システム</td> <td></td> <td>検査部</td> <td>令和5年3月7日</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>OCセンサー-Ceres</td> <td></td> <td>検査部</td> <td>令和5年3月7日</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>尿中有形成分分析装置</td> <td>USCANNER premio</td> <td>検査部</td> <td>令和5年3月9日</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>全自動遺伝子解析装置</td> <td>GENECUBE</td> <td>検査部</td> <td>令和5年1月25日</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>全自動尿中有形成分分析装置</td> <td>UF-5000</td> <td>検査部</td> <td>令和5年3月7日 ～令和5年3月8日</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>全自動血液凝固測定装置</td> <td>CN-6500、CN-6000</td> <td>検査部</td> <td>令和5年3月14日</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>多項目自動血球分析装置</td> <td>XR-3000 (XR-20, SP-50)</td> <td>検査部</td> <td>令和5年3月15日</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	機種名	導入診療科 (部)名	開催日	受講者 (人)	自動視野計	HFA850	眼科	令和4年6月28日	7	白内障・硝子体手術装置	DORC EVE	手術部	令和4年4月11日	7	酸素供給用経鼻カニューレ	NHF retrieve	手術部	令和4年5月18日	7	振動式末梢血管貫通用カテーテルシステム	CROSSER	第二内科 心臓カテーテル室	令和4年6月1日	7	人工心肺装置	APS-1	手術部	令和4年7月12日	7	観血血圧モニター	オプトモニター	第二内科 心臓カテーテル室	令和4年8月24日	11	観血血圧モニター	AVVIGO guidance system II	第二内科 心臓カテーテル室	令和4年9月6日	11	ウェーブフロントアナライザー	KR-1W	眼科	令和4年10月4日	7	ロックアーム	F-X-BJ	手術部	令和4年10月14日	63	超音波画像診断装置 UBMプローブ	UD-8000 UD-8060	眼科	令和4年11月22日	7 7	MIMAPRO マイクロ波アブレーションシステム	MTC-3C	第一内科	令和4年11月22日	7	手術支援ロボット	iArmS	耳鼻咽喉科	令和4年12月13日	4	超音波画像診断装置	LOGIQ P10	ICU	令和4年12月15日	6	エルベ	CRY02	呼吸器感染症内科	令和4年12月13日	12	移動型X線装置	AeroDR TX m01	AMEC	令和4年11月29日 ～ 令和4年12月1日	26	軟性膀胱鏡	Ambu aScope 4 Cysto	泌尿器科	令和5年2月17日	22	血液ガス分析装置	ラピッド ポイント 500e	第二内科 心臓カテーテル室	令和5年3月7日	30	放射線治療機器	Radixact	放射線部	令和5年3月25日 ～令和5年3月26日	4	微生物同定感受性測定システム		検査部	令和5年3月7日	7	OCセンサー-Ceres		検査部	令和5年3月7日	3	尿中有形成分分析装置	USCANNER premio	検査部	令和5年3月9日	3	全自動遺伝子解析装置	GENECUBE	検査部	令和5年1月25日	6	全自動尿中有形成分分析装置	UF-5000	検査部	令和5年3月7日 ～令和5年3月8日	3	全自動血液凝固測定装置	CN-6500、CN-6000	検査部	令和5年3月14日	5	多項目自動血球分析装置	XR-3000 (XR-20, SP-50)	検査部	令和5年3月15日	8	
機器名	機種名	導入診療科 (部)名	開催日	受講者 (人)																																																																																																																															
自動視野計	HFA850	眼科	令和4年6月28日	7																																																																																																																															
白内障・硝子体手術装置	DORC EVE	手術部	令和4年4月11日	7																																																																																																																															
酸素供給用経鼻カニューレ	NHF retrieve	手術部	令和4年5月18日	7																																																																																																																															
振動式末梢血管貫通用カテーテルシステム	CROSSER	第二内科 心臓カテーテル室	令和4年6月1日	7																																																																																																																															
人工心肺装置	APS-1	手術部	令和4年7月12日	7																																																																																																																															
観血血圧モニター	オプトモニター	第二内科 心臓カテーテル室	令和4年8月24日	11																																																																																																																															
観血血圧モニター	AVVIGO guidance system II	第二内科 心臓カテーテル室	令和4年9月6日	11																																																																																																																															
ウェーブフロントアナライザー	KR-1W	眼科	令和4年10月4日	7																																																																																																																															
ロックアーム	F-X-BJ	手術部	令和4年10月14日	63																																																																																																																															
超音波画像診断装置 UBMプローブ	UD-8000 UD-8060	眼科	令和4年11月22日	7 7																																																																																																																															
MIMAPRO マイクロ波アブレーションシステム	MTC-3C	第一内科	令和4年11月22日	7																																																																																																																															
手術支援ロボット	iArmS	耳鼻咽喉科	令和4年12月13日	4																																																																																																																															
超音波画像診断装置	LOGIQ P10	ICU	令和4年12月15日	6																																																																																																																															
エルベ	CRY02	呼吸器感染症内科	令和4年12月13日	12																																																																																																																															
移動型X線装置	AeroDR TX m01	AMEC	令和4年11月29日 ～ 令和4年12月1日	26																																																																																																																															
軟性膀胱鏡	Ambu aScope 4 Cysto	泌尿器科	令和5年2月17日	22																																																																																																																															
血液ガス分析装置	ラピッド ポイント 500e	第二内科 心臓カテーテル室	令和5年3月7日	30																																																																																																																															
放射線治療機器	Radixact	放射線部	令和5年3月25日 ～令和5年3月26日	4																																																																																																																															
微生物同定感受性測定システム		検査部	令和5年3月7日	7																																																																																																																															
OCセンサー-Ceres		検査部	令和5年3月7日	3																																																																																																																															
尿中有形成分分析装置	USCANNER premio	検査部	令和5年3月9日	3																																																																																																																															
全自動遺伝子解析装置	GENECUBE	検査部	令和5年1月25日	6																																																																																																																															
全自動尿中有形成分分析装置	UF-5000	検査部	令和5年3月7日 ～令和5年3月8日	3																																																																																																																															
全自動血液凝固測定装置	CN-6500、CN-6000	検査部	令和5年3月14日	5																																																																																																																															
多項目自動血球分析装置	XR-3000 (XR-20, SP-50)	検査部	令和5年3月15日	8																																																																																																																															

(2) 特定機能病院指定の定期研修

機器名	開催日	内容	受講者 (人)
①人工心肺装置	Moodle	2022年度 PCPS・ECMO 研修	200
②補助循環装置	Moodle	2022年度 補助循環研修	169
	7/11	ICU・CCUトレーニング (IMPELLA) (ICU 看護師)	16
	7/19	ICU・CCUトレーニング (IMPELLA) (ICU 看護師)	4
	DVD	IMPELLA (AMEC 看護師)	11
③人工呼吸器	Moodle	2022年度 人工呼吸器 1 研修	364
	Moodle	2022年度 人工呼吸器 2 研修	315
	Moodle	2022年度 ポータブル人工呼吸器研修	203
	Moodle	2022年度 NPPV・NHF 研修	245
	6/21	人工呼吸器研修 (NICU/GCU・看護師)	14
	6/27	人工呼吸器研修 (NICU/GCU・看護師)	29
④血液浄化装置	Moodle	2022年度 透析研修	167
	Moodle	2022年度 アフェレーシス研修	98
	Moodle	2022年度 CHDF 研修	150
⑤除細動装置	Moodle	2022年度 除細動器 1 研修	479
	Moodle	2022年度 除細動器 2 研修	468
	6/14	除細動器研修 (第二内科・看護師)	33
⑥閉鎖式保育器	Moodle	2022年度 閉鎖式保育器研修	86
	Moodle	2022年度 閉鎖式保育器トラブルシューティング研修	78
	5/25	保育器研修 (NICU/GCU・看護師)	23
	5/31	保育器研修 (NICU/GCU・看護師)	20
⑦診療用高エネルギー放射線発生装置 (直線加速器等)	放射線部において実施 下記(3)放射線部研修参照		
⑧診療用放射線照射装置 (RALS 等)			

(3) 放射線部研修

研修名称	研修内容	開催日	受講者 (人)
放射線部研修 (対象:医師及び放射線技師)	診療用高エネルギー放射線発生装置 (直線加速器等)	令和4年8月3日	12
	診療用高エネルギー放射線発生装置 (直線加速器等) Radixact について	令和4年12月16日	12
	診療用放射線照射装置 (RALS 等) Oncentra の取扱いについて	令和5年2月21日	13
	診療用放射線照射装置 (RALS 等) 緊急時の対応について	令和5年2月22日	15

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (有 ・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :

人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置の一部を定期点検(外注)
除細動装置、血液浄化装置の一部、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、
低圧持続吸引器、間歇的空気圧迫装置を定期点検(院内)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) :

なし

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

PMDA、日本医療評価機構より情報収集・院内メールにて周知
不定期に「MEだより」を発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況

有・無

- ・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)
- ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

医療安全管理責任者に「医療の質・安全担当」の副病院長 (医師) をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況

有 (6名) ・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

- ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

収集した医薬品情報を3分類 (最重要、重要、その他) し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、「最重要」、「重要」の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定 (全職員又は関連職員) するなどし、薬剤部DIセンターで関連書類を管理している。昨年度は「最重要」、「重要」に該当する事例はなかった。

- ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

未承認等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及び薬剤部セントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類 (A、B、C)

<p>し、リスク A は未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスク B は必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスク C は患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、電子カルテおよび薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：医療の質・安全管理部，職種：薬剤師） （所属：薬剤部DIセンター，職種：薬剤師） 	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：侵襲性の高い診療行為（手術等）について、インフォームド・コンセントの記録の確認を行い、診療録等に関する委員会にて報告し、是正を勧告している。また、多職種で参加する院内ケアプロセス調査においても、記載内容等について改善指導を行っている。 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 1) 診療録等の量的・質的点検 <p>診療情報管理士による診療録の点検を実施し、診療録センター運営委員会、Q I センター会議で報告するとともに、各診療科（診療科長・病棟医長・担当医）へ点検結果のフィードバックをしている。また、重要度の高い指摘項目がある診療科については、必要に応じてラウンドを実施するなどし、診療録記載の改善に努めている。</p> 2) 多職種による診療録等監査 <p>入院から退院までの一連のプロセスにおいて、患者へのアプローチや適切な記録の有無について多職種の視点で確認し、問題点等を指摘し改善することで、診療録等の適切な記載や医療の質向上へつなげる『院内ケアプロセス調査』を実施している。</p> 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従（5）名、専任（1）名、兼任（14）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（4）名 	

うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（5）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。
- (2) 医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。
- (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- (5) 院内死亡事例の検証に関すること。
- (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。
- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) 医療の質・安全管理部会議に出席し、インシデントや医療事故防止に関して検討する。
- (14) 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。
- (15) 医療の質・安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談数及び相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録すること。
- (16) 医療の質・安全管理委員会の構成員及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者等と、医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスを週1回程度開催すること。
- (17) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・無 ）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 188 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 37 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月1回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：山梨大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：名古屋大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況

（助言1）全体的にインシデント報告数が不足していると思われる。貴施設の診療規模であれば、インシデント報告総数 5000 件/年以上、かつ医師からの報告 400 件/年以上、さらに医師・看護師以外の職種からの報告を全体の 20%以上とすることを当面の目標とされるとよい。

（対応1）インシデント報告数増加への取り組み

①オカレンス報告の簡略化

従来インシデント報告にかかる時間の約五分の一に簡略化した。これによって特に医師からの報告数を増加させることが期待できる

②手術時のタイムアウトの項目にオカレンスの有無を追加

医師がオカレンス項目の有無を把握でき報告を促すことができると考える

③インシデントレポートの簡略化

オカレンス以外でもインシデントの2~3項目でオカレンスと同様に簡略化を計画中である。これによって全体の報告数を増加させることができると考える。

④今年度の目標を「医療安全文化の醸成を目指して」とし、その中で報告する文化の醸成としてインシデント・オカレンス報告数の増加を掲げた

（助言2）

安全管理者の多くが“注意喚起”に限界を感じている一方で、それを凌駕する具体的な方略をイメージできていない。例えば、定型化された問題解決手法（問題解決 8 ステップなど）を導入し、Q.I と有機的に連動させ、注意喚起のみに依存しない本格的なPDCA/SDCAサイクルを駆動させるといった方略を積極的に展開されたい。また、再発防止策等が、定着しているかどうかを定期的に確認するなど、中～長期的なモニタリング体制を導入するとよい。

（対応2）

注意喚起に加え、医療の質・安全に関し優良な部署を表彰し、モチベーションを高める試みを開始した。重大事象においては改善策の遂行状況や結果のモニタリングを定期的にまた確実に実行する

ためモニタリング計画表を作成した。対応や改善策の効果が不十分な場合、PCDA サイクルを駆動させ再度、改善策を検討する予定である

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、患者相談対応マニュアルに準じ、医療安全・医療事故に関して医療の質・安全管理部で対応している。また、患者相談窓口で受けた相談のうち、医療安全・医療事故に関する相談は医療の質・安全管理部に報告され、内容によっては、医療の質・安全管理委員会に報告し、対応する。緊急を要する場合は、即時病院長に報告する。

また、週に一度の患者サポート対応カンファレンスに参加し、情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2022/4/1	新人看護師	「新採用者オリエンテーション：病院でのリスクマネジメント」	看護師 GRM	74 人
2022/8/26	全職員	「本院の医療安全体制および外部監査結果報告」 「医療安全文化調査の結果報告」	医師 GRM 医師 GRM 薬剤師 GRM	1864 人 (eラーニング、DVD貸し出しを含む)
2023/1/23	全職員	「行動経済学観点から QI 活動に」	学外講師	1843 人 (対面講習、eラーニング、DVD貸し出しを含む)
2022/7/8	新規（中途）採用医師	「医薬品に関わるルール」 「当院の医療安全体制とその実際」	学内講師	75 人(eラーニング、DVD貸し出しを含む)
2022/4/18	新採用者看護師	医療安全に関する研修 I 「リスクマネジメントマニュアルを知ろう」	看護師 GRM	74 人
2022/4/19	新採用看護師	内服薬、貼付剤、外用薬知識	看護師 GRM	74 人
2022/4/20	新採用看護師	静脈注射知識編 I 「安全対策と事故防止」	看護師 GRM	74 人
2022/4/20	新採用看護師	静脈注射知識編 I 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識と管理」	医師 GRM	74 人
2022/6/1	2019 年度採用看護師と希望者	静脈注射知識編 V 「静脈注射にまつわるインシデント」	医師 GRM	63 人

2023/1/18	新採用看護師	医療安全に関する研修Ⅱ 「リスク感性を高めよう：KYT」	看護師 GRM	67 人
2022/7/5	看護補助者、クラーク	看護補助者研修 「医療安全」	看護師 GRM	75 人
2022/6/30	研修医	みんなで創る医療安全	医師 GRM	19 人

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構が実施する「2022年度「特定機能病院管理者研修」に管理者(2023.1.16)、医療安全管理責任者(2023.2.2)、医薬品安全管理責任者(2022.12.7)、医療機器安全管理責任者(2022.12.7)が参加し、医療に係る安全管理のため研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver2.0 (一般病院3) を受審し、「認定継続」の審査結果をいただいております。「医療事故等に適切に対応している」の項目についても「(A)」の評価をいただいております。また、2023.11.27~29に病院機能評価 3rdG:Ver3.0 を受審予定。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

改善内容なし

・評価を踏まえ講じた措置

同上

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>山口大学医学部附属病院長選考規則において、「(1)臨床研修等修了医師である者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育、研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
松野 浩嗣	山口大学理事	○		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
篠田 晃	山口大学医学部長			<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
田邊 剛	山口大学医学科長			<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
伊東 克能	山口大学医学部附属病院副病院長			<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
原田 美佐	山口大学医学部附属病院看護部長			<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
井上 幸江	山陽小野田市立山口東京理科大学教授・副学長		宇部・山陽小野田医療圏の医療等の状況に精通し、医療について高い識見を有する。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
梅本 裕英	前北九州銀行取締役監査等委員		山口県内の経済事情及び医療等の状況に精通し、経営及び医療について高い識見を有する。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
田村 秀治	宇部西ロータリークラブ会長 山口テレコム株式		宇部・山陽小野田医療圏の地域事情及び経済事情に精通し、経営について高い識見を有する。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

	会社代表取締役			
--	---------	--	--	--

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
-----------	---

- ・合議体の主要な審議内容
病院の予算及び経営に関する事項、規則の制定及び改廃に関する事項、その他病院の管理運営に関する事項
- ・審議の概要の従業者への周知状況
病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また、会議資料、議事概要を学内ウェブページに掲載し、従業者が閲覧できる環境を設けている。
- ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：山口大学ホームページに掲載
- ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
篠田 晃		医師	医学部長
高見 太郎		医師	第一内科長
太田 康晴		医師	第三内科長
中森 雅之		医師	脳神経内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
松永 和人	○	医師	呼吸器・感染症内科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
白石 晃司		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
山下 裕司		医師	耳鼻咽喉科長
伊東 克能		医師	放射線科長
田中 秀和		医師	放射線治療科長
杉野 法広		医師	病院長、産科婦人科長
松本 美志也		医師	麻酔科蘇生科長
石原 秀行		医師	脳神経外科長
三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長

山崎 隆弘		医師	検査部長
鶴田 良介		医師	先進救急医療センター長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
石田 博		医師	医療情報部長
高崎 彰久		医師	医療の質・安全管理部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
瀬川 誠		医師	漢方診療部
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)
原田 美佐		看護師	看護部長
佐藤 元則		事務職員	事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

- ・ 規程の主な内容

病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長6名を配置し、総務、医療の質と安全、DX推進、防災、医療連携（患者支援）、広報、教育、研究、経営・企画、診療、人事・労務、D&I推進、個人情報管理及び看護・患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐3名を配置している。また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。

研修については、勤務環境改善を考えることを目的とした全国医学部長病院長会議等が主催する「トップマネジメント研修（2023.8.25）」に病院長が、同研修（2023.6.29）に中川副病院長が参加している。また、第5回病院長塾に看護部長が参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>(2) 必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。</p> <p>(3) (1)、(2)に掲げる活動について、その結果を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 公表の方法：大学ウェブページに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法 山口大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議体の実施状況（年7回） 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）（年7回） 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） 公表の方法：山口大学ホームページに掲載 			
<p>病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会</p>			
<p>会議体の委員名簿</p>			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
谷澤幸生	山口大学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
松野浩嗣	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
進士正人	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
上西研	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
葛崎偉	山口大学特命理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
溝部康雄	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
七村守	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
岡田実	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
LOEHR MARC	山口大学副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
松永和人	山口大学副学長・医学部附属病院長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
鍋山祥子	山口大学副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
石井由理	山口大学副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
今村孝子	山口県医師会 副会長 山口県公安委員		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
岩崎史哲	株式会社トクヤマ取締役 常務執行役員 研究開発本部長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
岩田幸雄	山口放送株式会社 代表取締役会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
鎌田積	学校法人都築学園神戸医療未来大学 教授・副学長 一般財団法人日本開発構想研究所 シニアアドバイザー		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
川上康男	株式会社長府製作所代表取締役会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

齋藤宗房	山口トヨタ自動車株式会社代表取締役社長 テレビ山口株式会社代表取締役社長		有・無
桜井博志	旭酒造株式会社会長		有・無
下村輝夫	福岡工業大学長		有・無
末永久大	弁護士法人末永法律事務所弁護士		有・無
原山優子	東北大学名誉教授		有・無
平屋隆之	山口県副知事		有・無
矢儀一仁	株式会社山口フィナンシャルグループ 常務執行役員		有・無
山本謙	UBE株式会社取締役会長		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 1 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 <ol style="list-style-type: none">① 大学ホームページに掲載② 職員ハンドブックに掲載③ 医療安全講習会による周知④ メールを利用した Web アンケート回答後の解説による周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無

有・無

・ 情報発信の方法、内容等の概要

ホームページ，HP，SNS，広報誌等の広報媒体を通して，情報を発信している。

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

他科とのコンサルテーションを実施している。